

緊急呼出電話装置

# ガイドホンEA

## 総合説明書

初 版

1993年9月

***Nitsuko***

**日通工株式会社**

〒213 川崎市高津区北見方260 電話(044)811-1111(大代表)

## ガイドホン EA 総合説明書目次

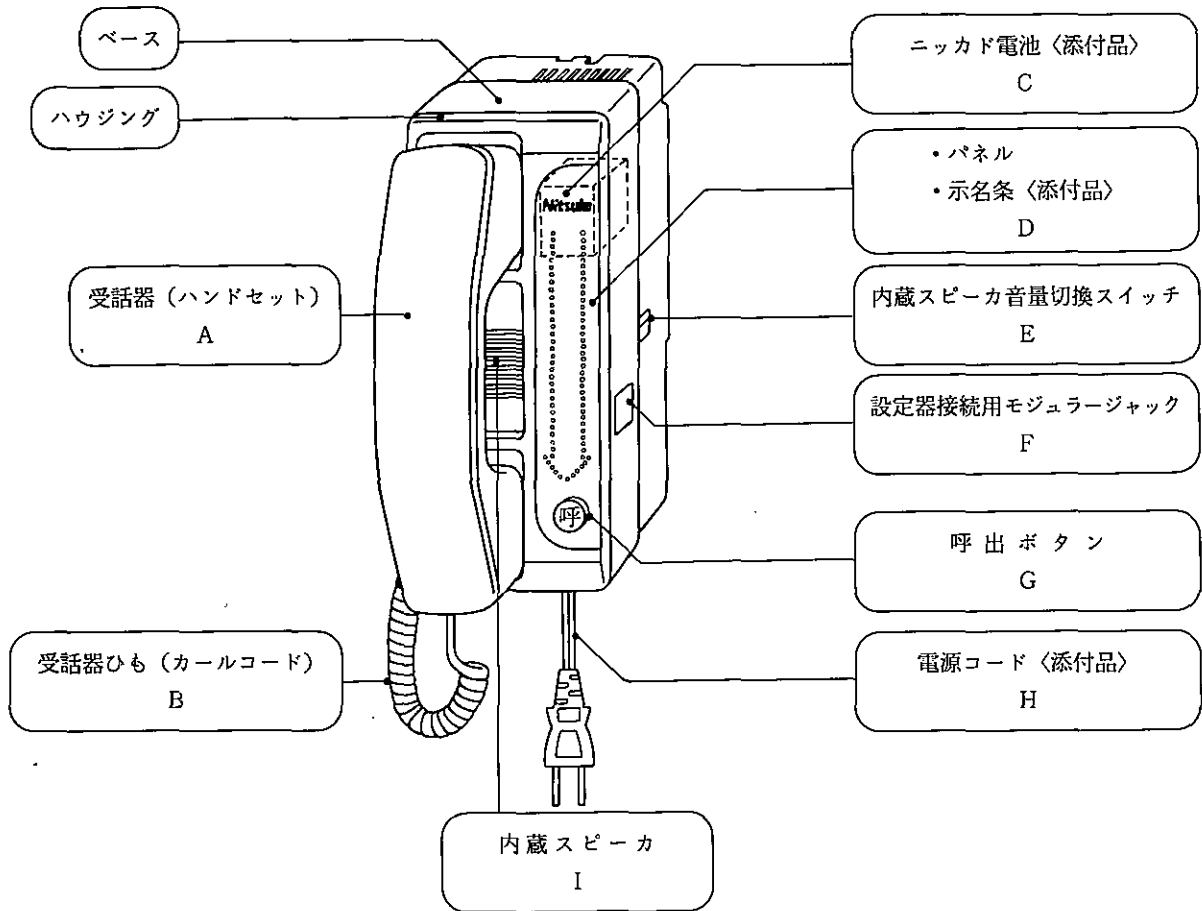
基 本 編 .....	1
各部の名称とはたらき .....	1
ガイドホン EA とは .....	3
安心してお使いいただくために .....	4
NTT への届出 .....	8
運 用 編 .....	9
取扱いの方法 .....	9
テレコン操作について .....	11
工 事 編 .....	14
取付・結線 .....	14
データ設定 .....	19
検 査 .....	30
こんなときはここをチェック .....	33
お 願 い .....	34
添付品一覧 .....	34
仕 様 .....	35
アフターサービスについて .....	35
資 料 編 .....	36
システムデータ設定表 .....	36
点検チェックリスト .....	38
外観構造図 .....	40

# 基本編

各部の名称とはたらき

□○内のページに説明があります。

〔前面／側面〕



A 通話連絡するときに使います。

受話器を上げると、操作ガイダンスが流れます。□9ページ

B 設置場所の状況に応じ、装置の側面または下部から取り出して設置します。□18ページ

C 停電時の動作を一定時間保つための電池です。設置時に必ず接続して下さい。□14ページ

D 通話連絡するときの操作方法を明記してあります。

この内容に従って、通話連絡して下さい。□9ページ

E 内蔵スピーカの音量（大↔小）を切り換えるときに使います。□31ページ

F 専用のデータ設定器（工事保守時に使用、別売）を使用するときの接続部です。なお、この部分には絶対に電話回線を接続しないで下さい。□19ページ

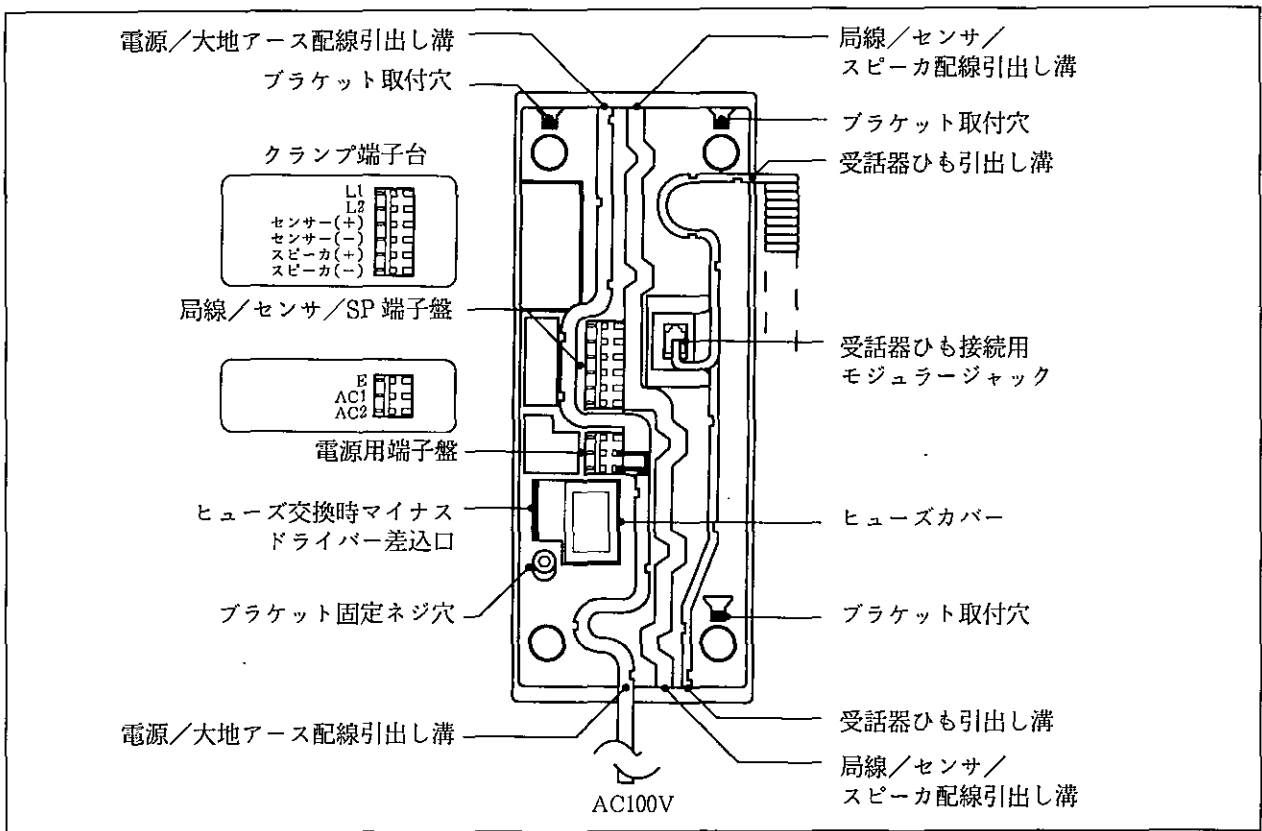
G 通話連絡するときに使います。

受話器を上げてから押すことにより、連絡先を呼び出すことができます。□9ページ

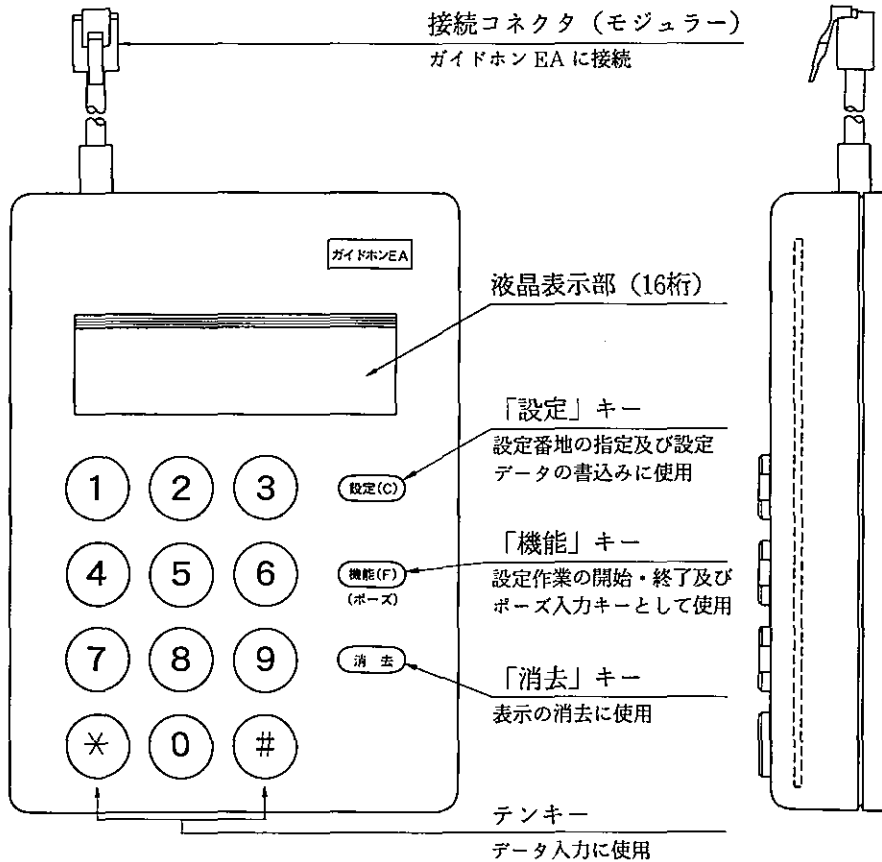
H 電源（AC100V）に接続します。□17. 18ページ

I 管理センターなど、外部からの呼出を受話拡声します。□31ページ

[背面]



[ガイドホンEAデータ設定器]



# ガイドホンEAとは

## ① 概要

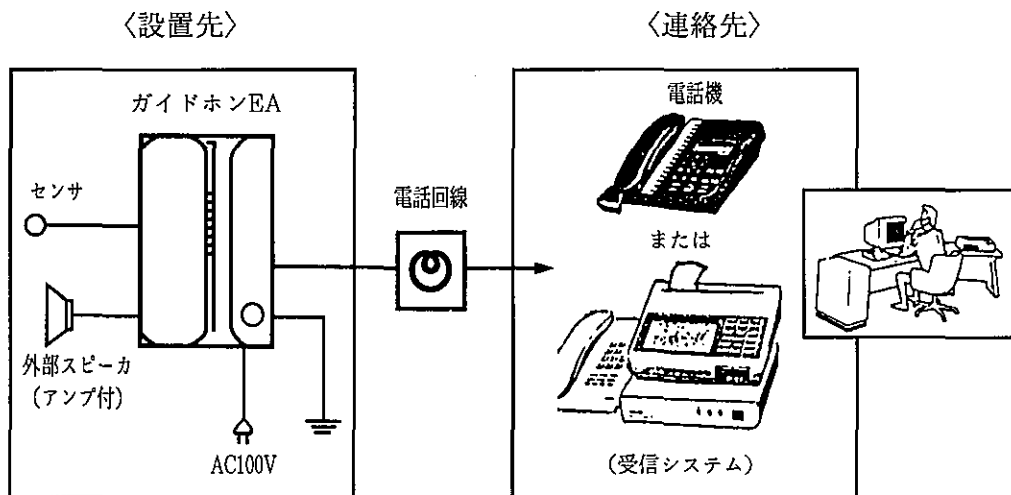
本装置は、一般加入電話回線またはPBX内線に接続して使用する「主装置+呼出電話機」一体型の緊急呼出電話装置です。

- ・ハンドセットを上げ呼出ボタンを押下することにより、あらかじめ設定した連絡先へ自動ダイヤル後、相互通話できます。
- ・センサ入力により、あらかじめ設定した連絡先へ自動ダイヤルする非常通報機能を備えています。
- ・外部からの呼出し（着信）に対して自動応答し、内蔵スピーカにより相手の声を受話拡声できます。
- ・装置を使用する人に対し音声で操作方法をガイダンスします。

## ② 構成

### 1) システム構成図

第1図



### 2) システム構成表

第1表

No.	品名	数量	記事
1	ガイドホンEA	1	本体
2	外部センサ	1	一般市販品を必要に応じて使用
3	外部スピーカ	1	

\* ガイドホンEA にシステムデータを設定するために、専用の「ガイドホンEA 設定器」〈別売〉が必要です。  
 (また、受信装置を使って連絡受付をする場合は、「受信システム」〈別売〉をご使用下さい。)

## 安心してお使いいただくため

〈必ずお読み下さい〉

ガイドホンEAは、緊急呼出・非常通報を目的とした装置であり、機器の性格上確実な機能動作の保持が要求されます。しかし一般の電話機と異なり、日常頻繁に動作するものではありません。従いまして、いざという時の確実な動作を確保し、装置を安心してお使いいただくためにも、日頃の点検が大切になります。

装置の品質につきましては万全を期しておりますが、ご使用にあたってはこの点を充分にご理解いただき、下記のとおり点検の実施をお願い申し上げます。

### 点 検

#### ① 日常点検

ガイドホンEAは緊急呼出電話装置です。正常に動作運用されますよう、点検を定期的に行って下さい。チェックしていただく項目は次の通りです。

##### 1) 緊急呼出動作

- 受話器を上げるとメッセージが流れるか。
- ボタンを押すと相手に連絡するか。
- 通話は正常にできるか。

##### 2) センサを使用している場合の緊急通報動作

- センサを動作させて通報動作を行うか。
- 通報しない場合、センサの線を外し、センサの端子を直接短絡して通報するか。  
(このとき通報を行う場合は、センサ及び配線のチェックが必要となります。)

##### 3) 自動応答

- ガイドホンEAに電話をかけたとき、ガイドホンEAが自動応答を行うか。

#### ② 随時点検

落雷、台風（強風、豪雨）、地震、電力会社等による電話工事、NTTによる電話工事電話設備の変更（移設、新規電話設備の設置など）があった場合、上記の点検を実施して下さい。

#### ③ 定期点検

上記の他に配線状態や動作確認など、日常の自主点検のみでは難しい部分もありますので、ご購入店または取付工事店と、定期保守点検（有料）のご契約を結ばれることをお勧め致します。定期点検のポイントは巻末の「点検チェックリスト」（装置にも添付されています）をご覧ください。

## 注意事項

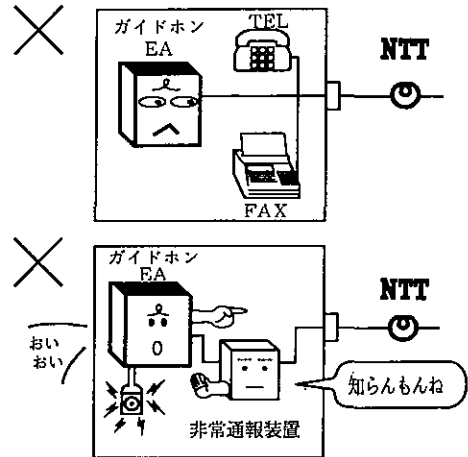
### ① 電話回線に関する取扱い

#### 1) 電話回線に関する取扱い

- 本装置と同じ電話回線に、電話機やFAX、回線選択アダプタなど、他の電話装置をブランチ接続（親子接続）したり、工事要領書の指定以外の方法で接続すると装置の正常な動作が妨げられます。

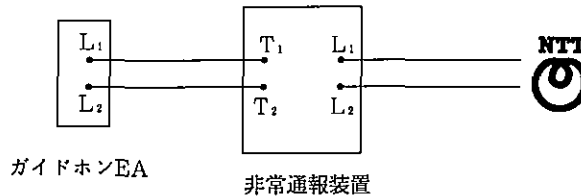
絶対にそのような接続をしないで下さい。

- 本装置の前方（局側）に非常通報装置などを直列接続すると、両装置の正常な動作が妨げられる場合がありますので、絶対にそのような接続をしないで下さい。



\*なお、当社製品「非常通報装置コルソス」に限り、本装置と同一回線でのシステム接続が可能です。接続は次のように行って下さい。

（接続可能な端末：コルソス CS・D6、CS・D40BS、CS・ID、セキュリテレホン101TH・D2 いずれか1台）



\*運用については次のことにご留意下さい。

テレコン機能をご使用の際、非常通報装置またはガイドホンEA どちらか一方しか自動応答させることはできません。自動応答させたい方の装置が、着信のあった時さきに応答するよう設定を行って下さい。

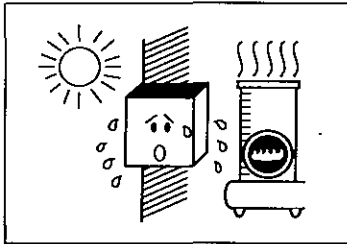
#### 2) 回線種別

- 装置が接続されている電話回線の種別（ダイヤル回線／プッシュ回線）を変更した場合、装置の設定変更が必要です。
- 極性反転信号の来ないPBXの内線に接続する場合、下記の事項に留意して下さい。
  - ・連絡を行った際、相手が応答してもガイドホンEAはIDコードの送出行をしません。IDコードの送出回数の設定は0回、応答検出なしで設定して下さい。（28ページ参照）
  - ・センサ入力による自動通報はできません。（相手が応答してもメッセージを送出しません）なお受信側がⓂの応答信号を送出する場合はこのかぎりではありません。（28ページ参照）
- ピンク回線への接続は避けて下さい。
- ISDN回線に直接接続することはできません。

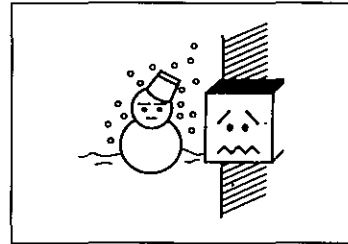
### 3) 設置場所

本装置の設置場所に関して、装置の正常な動作を保持するために次のような場所への設置は避けて下さい。

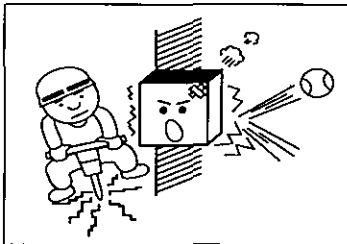
①直射日光、暖房設備等で高温、多湿になる場所。



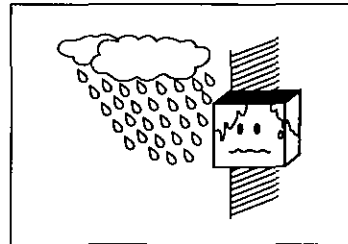
②著しく温度の低下する場所。



③振動、衝撃のある場所。



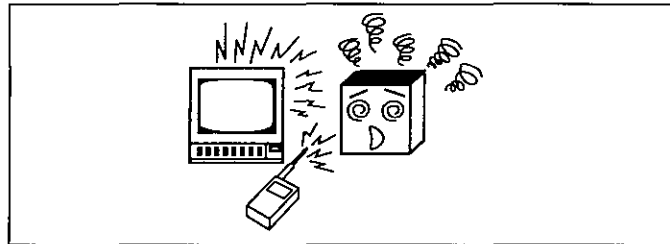
④冠水、薬品類のかかる恐れのある場所。



⑤通行、物の出し入れ等に支障のある場所。

⑥溶接機、高周波ミシン等、ノイズを発生する場所。

⑦テレビ、ラジオ等、高周波信号を扱っている機器に近い場所。



以上のような場所を避け、保守点検作業に支障がない場所に設置して下さい。

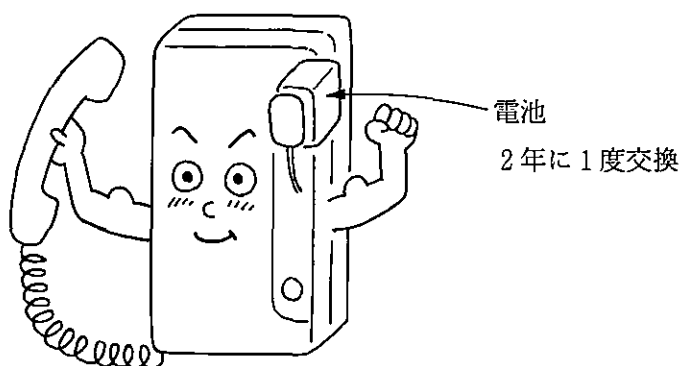
本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波妨害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると受信障害の原因となることがあります。工事要領書・総合説明書に従って正しい取扱いをして下さい。

## ② 装置の電源

常時電源が供給されるよう、24時間商用電源（AC100V）が供給されるコンセントに装置を接続して下さい。

## ③ 電池の交換

運用にあたっては、停電動作のためのニッカド電池（添付品）を必ず本装置に実装して下さい。電池の寿命は2～3年ですが、確実な停電動作を保持するため、2年毎に交換して下さい。交換方法については「電池の接続」（14ページ）をご覧ください。（電池の交換については34ページもご参照下さい。）



## ④ その他

- 設定器接続部にカールコードのモジュラーや局線ラインコードのモジュラーを絶対に差しこまないで下さい。
- 装置をガソリン、ベンジン、シンナー等の薬品で拭かないで下さい。
- 連絡（通報）宛先として「110」「119」を設定しないで下さい。

### おことわり

本装置は事故の発生を防止するものではありません。従いまして、万一事故が発生し、損害が生じても、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

## NTT への届け出

●ご使用に際しては、NTTの接続請求書受付センターへの届け出が必要です。

添付の「端末設備接続（変更）請求書」のはがきに必要事項をご記入のうえ、切手を貼って郵送して下さい。

### 端末設備接続（変更）請求書

日本電信電話株式会社殿

契約者氏名 \_\_\_\_\_ ㊤ ※1

下記のとおり端末設備を設置するので提出します。

記

1-1. \_\_\_\_\_ 1. 端末機器を取りつける電話番号  
※市外局番からはっきりお書きください。

☎ (      )      -

1-2. \_\_\_\_\_ 2. 端末機器を取りつける場所（住所）

〒      -

都道 府県	区郡 市	町区

3. 端末機器名等（新設又は変更後）

番号	機 器 名	適合認定・型式指定番号等
	ガイドホン EA	P 92-0043-0

4. NTTからの連絡先

ご 連 絡 先	☎ (      )      -	} _____ 1-3.
工事担当者名		
* 連絡先	☎ (      )      -	} _____ ※2

\* 工事担当者が必要な工事を行う場合に記入する。

※1：契約者氏名

NTTに契約申込みをしたときの契約者（名義人）です。（通常は世帯主です。）必ず、捺印してください。

1-1.：端末機器を取付ける電話番号

電話番号をもれなく記入してください。

1-2.：端末機器を取付ける場所

住所を記入してください。

1-3.：NTTからの連絡

実際に利用されている方で、NTTからの問い合わせに対応する方の電話番号を記入してください。

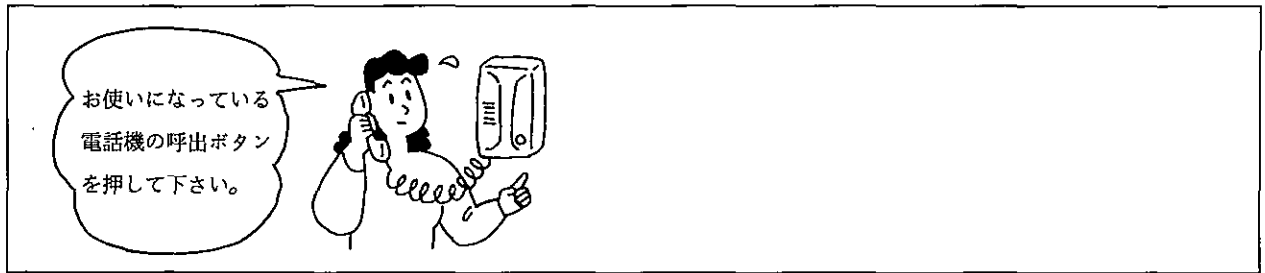
※2：取付工事を行う担当者（工事担当者資格アナログ第3種以上）のお名前、電話番号を記入してください。

# 運用編

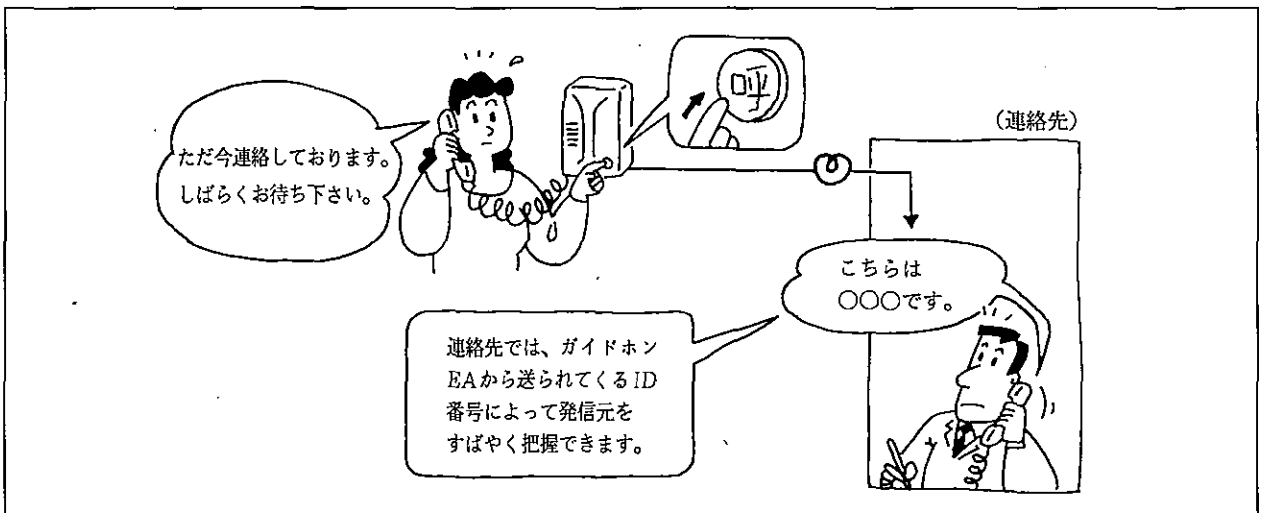
## 取扱いの方法

操作ガイダンスが受話器から流れますので、どなたでも簡単にお使いになれます。

- ① 受話器を上げると、下記のメッセージが流れます。

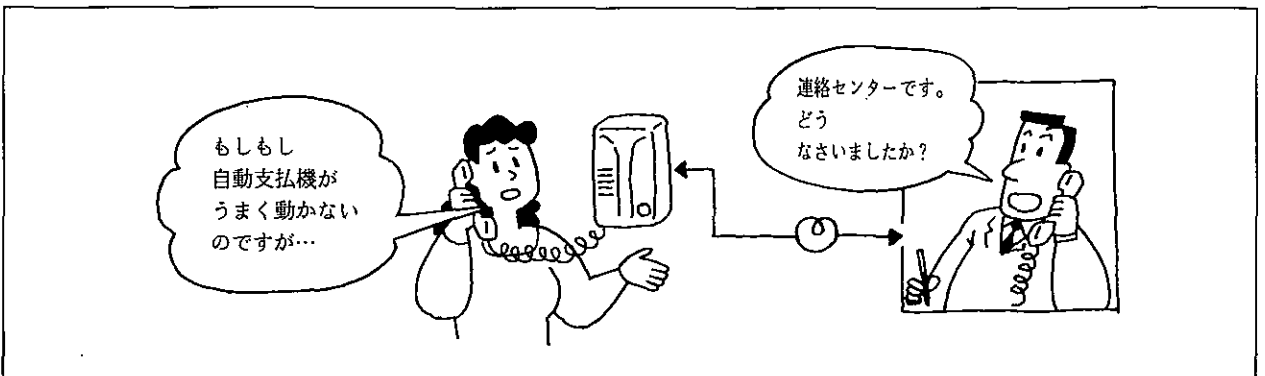


- ② 呼出ボタンを押すと、ガイドホンEAは連絡を開始します。



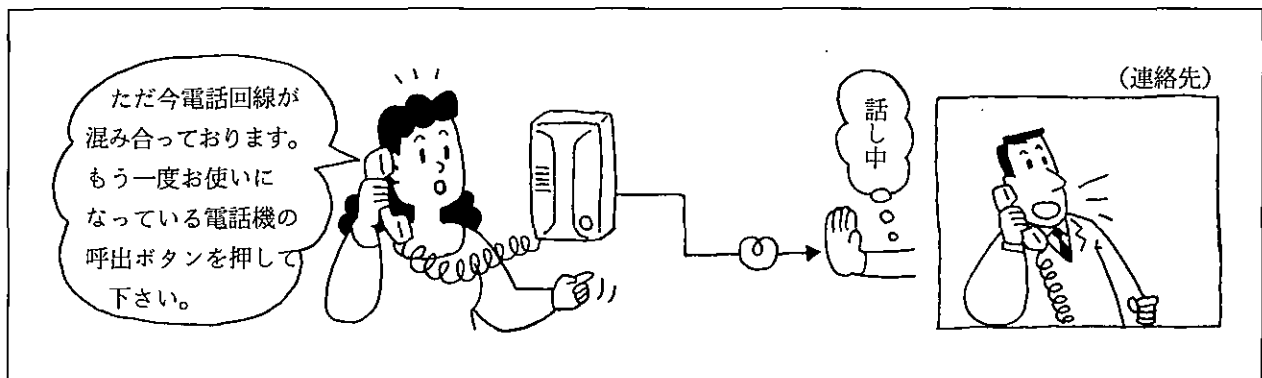
ガイドホンEAが「宛先応答検出せず」の設定の時は、IDコードは流れません。(30ページ参照)

- ③ 相手が出たらお話し下さい。



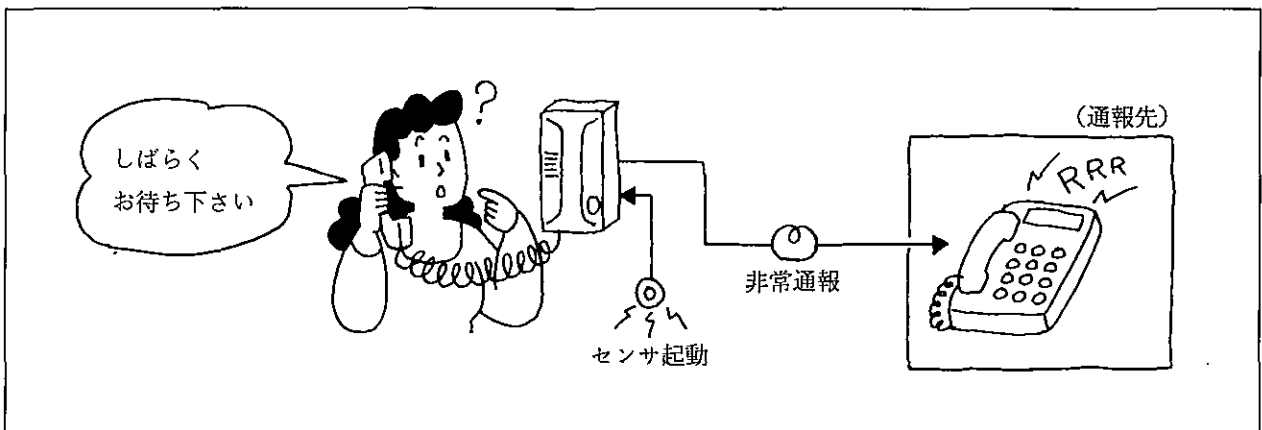
次の場合は連絡先につながりません。

■連絡先が話中の場合



この場合、ガイダンスに従い再度呼出ボタンを押すと、ガイドホンEAは連絡を開始します。

■センサ入力があり、通報動作を行っているとき受話器を上げたとき



この場合呼出ボタンを押しても無効となりますので、いったん受話器を戻し、しばらくしてからもう一度操作して下さい。

## テレコン操作について

ガイドホン EA はテレコンの操作により、各種システムデータの設定の変更を行うことが可能です。

※テレコン操作は必ず PB 信号が送出できる電話機から行って下さい。

※テレコンの操作では#、\*をシステムデータに設定することはできません。

※番号等の入力は、必ずガイドホン EA のメッセージが完全に終了してから行って下さい。

※ガイドホン EA のスピーカから呼びかけたいときの操作は、31ページをご参照下さい。

### ① ダイヤルボタンの操作

- |     |   |   |     |                    |
|-----|---|---|-----|--------------------|
| ①   | ② | ③ | ①～③ | 番号の入力に使用します。       |
| ④   | ⑤ | ⑥ | #   | 番号入力の前後に使用します。     |
| ⑦   | ⑧ | ⑨ |     |                    |
| * ⑩ | # | * | *   | 番号入力を間違えたときに使用します。 |

### ② テレコンによるシステムデータ確認

(31ページを参考にガイドホン EA がテレコン可能な状態にします。)

- 1) #を入力します。
- 2) ダイヤルボタンの①を入力します。
- 3) 確認したい設定番地の番号 2 ケタを入力します。

例：設定番地「A 1 1」を確認したい場合

#①① と入力します。

ガイドホン EA からは次のメッセージが返ってきます。

「番号 A 1 確認です。〇〇〇〇〇 (設定されている電話番号) です。

確認終了しました。番号を入力して下さい。」

(この後、続いて別の確認、変更操作が可能です。)

※電話番号の途中に#または\*が設定されていた場合、その部分は「の」というメッセージを流します。

①②③#④⑤⑥⑦と設定されていた場合

「<sup>いちにさんのよんごろくな</sup>1 2 3 - 4 5 6 7」 とメッセージが流れます。

※番号のなかにポーズが設定されていた場合、確認するときポーズ以降の番号についてはメッセージを流しません。

※番号の入力中、途中で入力間違いに気付いた場合は\*を押し、再度入力して下さい。

すべての操作が終了したら#⑨⑨と入力すると、ガイドホン EA が回線を開放します。

③ テレコンによるシステムデータ変更

(31ページを参考にガイドホン EA がテレコン可能な状態にします。)

- 1) #を入力します。
- 2) ダイヤルボタンの②を入力します。
- 3) 変更したい設定番地の番号2ケタを入力します。

例：設定番地「A 1 1」を変更したい場合

#②①① と入力します。

ガイドホン EA からは次のメッセージが返ってきます。

「番号A 1 変更です。番号を入力して下さい。」

- 4) 設定したい番号を入力します。
- 5) #を入力します。

例：①②③④⑤⑥⑦#と入力した場合、ガイドホン EA からは次のメッセージが返ってきます。

「確認です。1 2 3 4 5 6 7です。」

- 6) 確認した番号に間違いがなければ、①#を入力します。

ガイドホン EA からは次のメッセージが返ってきます。

「変更終了しました。番号を入力して下さい。」

※5) の操作の後、確認した番号が間違っていた場合、⑨#を入力します。

ガイドホン EA からは次のメッセージが返ってきます。

「終了しました。番号を入力して下さい。」(番号は変更されていません)

この後、1) より再度操作して下さい。

※番号を入力中、入力間違いに気付いたときは、\*を入力し、正しい番号を入力しなおして下さい。

すべての操作が終了したら#⑨⑨と入力すると、ガイドホン EA が回線を開放します。

## システムデータ項目とテレコンメッセージ対照表

設定番地	設定項目	確認(変更)時のメッセージ
A11	連絡宛先電話番号(通話連絡用)	番号をA1確認(変更)です
A41	連絡宛先電話番号(センサ入力通報用)	番号をD1確認(変更)です
A50	IDコード	ID番号を0確認(変更)です
A60	暗証番号	暗証番号を確認(変更)です
A70	連絡宛先呼出時間	番号を70確認(変更)です
A73	自動応答遅延時間	番号を73確認(変更)です
A76	自動応答後のハンドセットオフフック検出時間	番号を76確認(変更)です
A77	通話時間監視	番号を77確認(変更)です
A78	センサ入力検出遅延時間	番号を78確認(変更)です
A79	IDコード送出回数	番号を79確認(変更)です
A90	ダイヤル種別	番号を90確認(変更)です
A91	宛先応答検出方法	番号を91確認(変更)です
A92	IDコード送出方式	番号を92確認(変更)です
A93	混在収容の有無	番号を93確認(変更)です
A94	PBデータ送出レベル	番号を94確認(変更)です

設定内容については23ページ、システムデータ設定項目一覧をご覧ください。

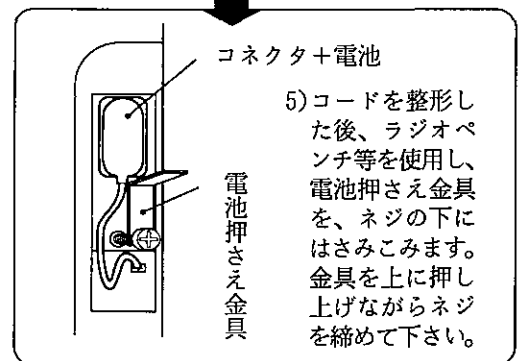
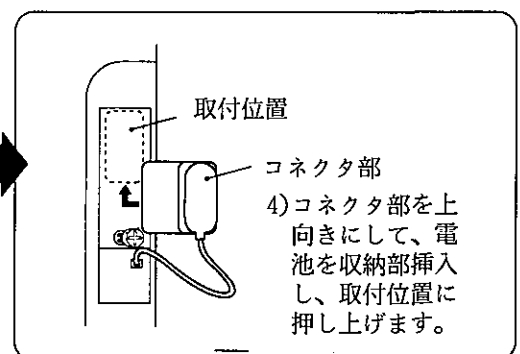
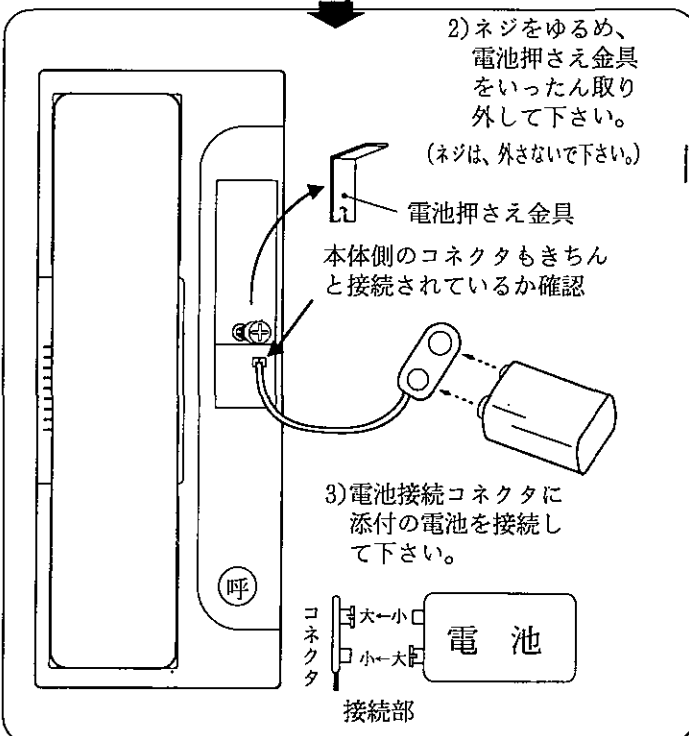
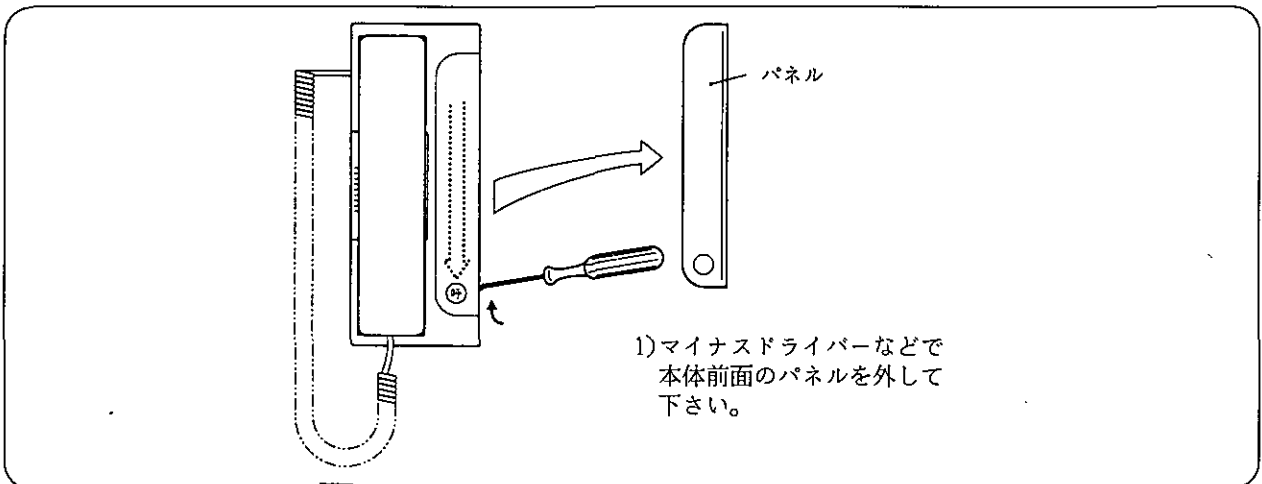
# 工事編

## 取付・結線

### ① 電池の接続

停電時でも一定時間の機能動作を保持させるために、添付のニッカド電池を必ず本装置に接続して下さい。

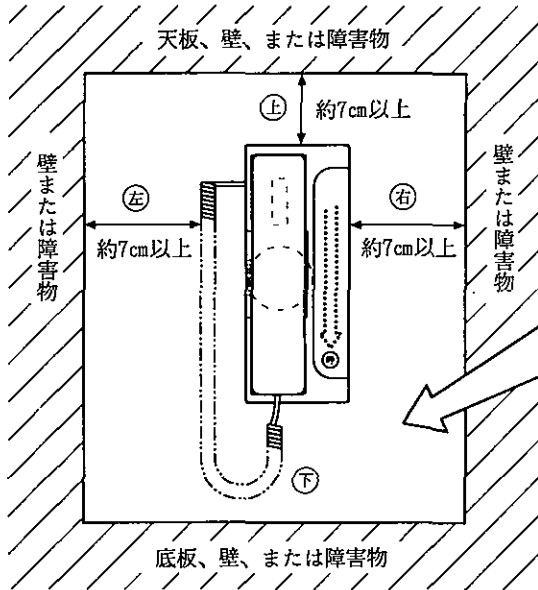
- 1) マイナスドライバーなどで装置前面のパネルを外します。
- 2) 電池収納部内のネジをゆるめ、電池押さえ金具をいったん取り外して下さい。
- 3) 電池接続コネクタに添付のニッカド電池を接続します。
- 4) 接続したニッカド電池を収納部に挿入し、図のように押し上げます。
- 5) 電池押さえ金具をもう一度取り付けて、ニッカド電池を固定します。



## ② 取付位置の決定

本装置は、壁面または卓上への設置が可能です。まず、装置を取り付ける位置を決定して下さい。

- 1) 本装置の上下左右には最低7cmの空きスペースを設けて下さい。
- 2) 壁面設置の場合、取付高さは床面から1.2m～1.5mの位置が適切です。

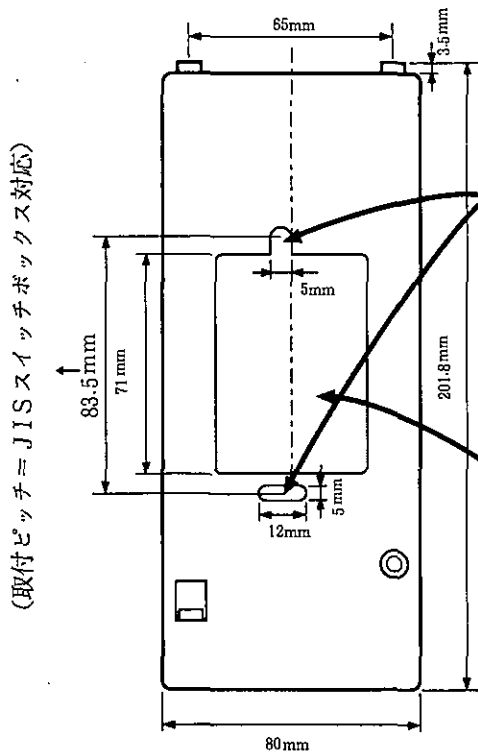


特に、向かって右側面には、

- ・設定器接続用モジュージャック（データ設定作業時に使用）
  - ・内蔵スピーカ音量切換スイッチ
- がありますので、空きスペースに余裕を持たせて下さい。

## ③ 取付ブラケットの取付

取付位置に、まず添付の取付ブラケットを取り付けて下さい。



- 1) 取付位置が決まったら、取付穴2カ所をマーキングし、取付金具を添付の木ネジで固定します。  
壁面がベニヤ板、石膏ボードの場合は、裏板等を使ってしっかり固定して下さい。壁面がコンクリートの場合は、カールプラグ、PYプラグを埋め込み、木ネジで固定して下さい。
- 2) 埋込み配線の場合は、配線ケーブルをケーブル穴から引出して装置と接続できる状態にして下さい。

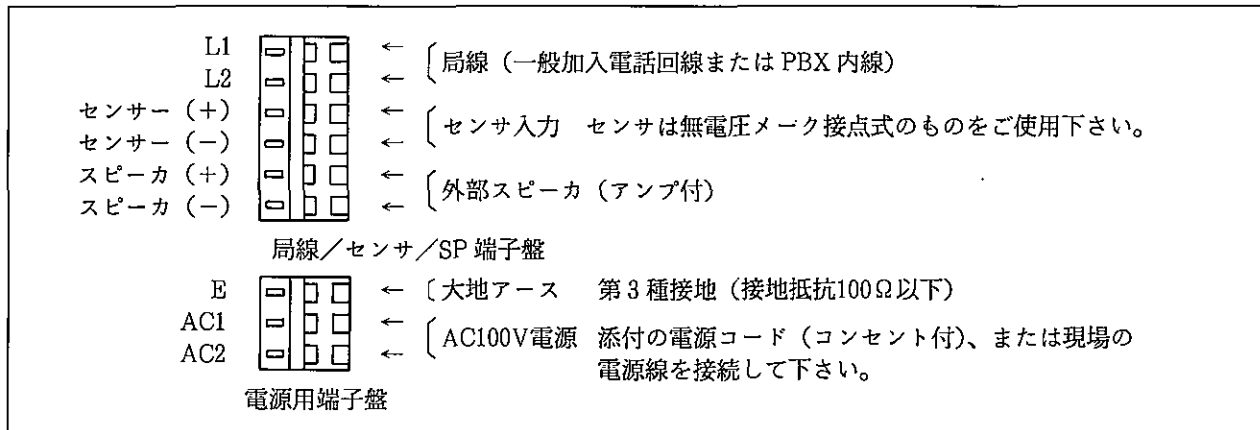
#### ④ 結線工事

本装置は、背面に各種配線の接続部と引出し溝があるため、ハウジング部とベース部を分解することなく結線工事ができます。

##### 1) 装置背面／各種配線の接続部／配線の引出し溝

露出配線の場合は、装置背面の配線引出し溝を利用して、設置場所の状況に応じて装置の上部または下部から配線を取り出して下さい。

##### 2) クランプ端子台の配列



※センサー入力に接続する配線の線路抵抗は、センサーの接点と配線を合わせて3KΩ以下にして下さい。

※外部スピーカは、入力インピーダンス47KΩ以上のアンプ付スピーカをご使用下さい。

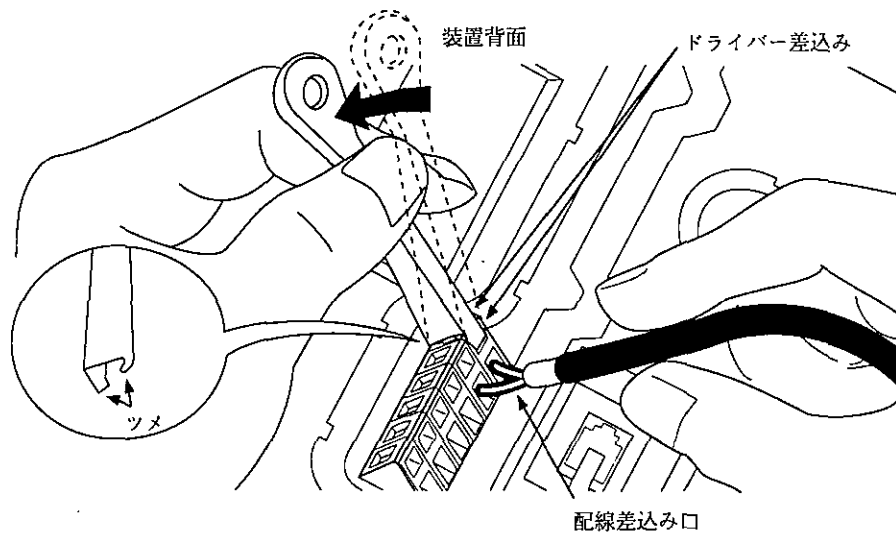
★注意★

添付の電源コードを端子に接続する時は、必ずコンセントから外した状態で行って下さい。  
また、現場の電源線を端子に直接接続する時も、無通电の状態で行って下さい。

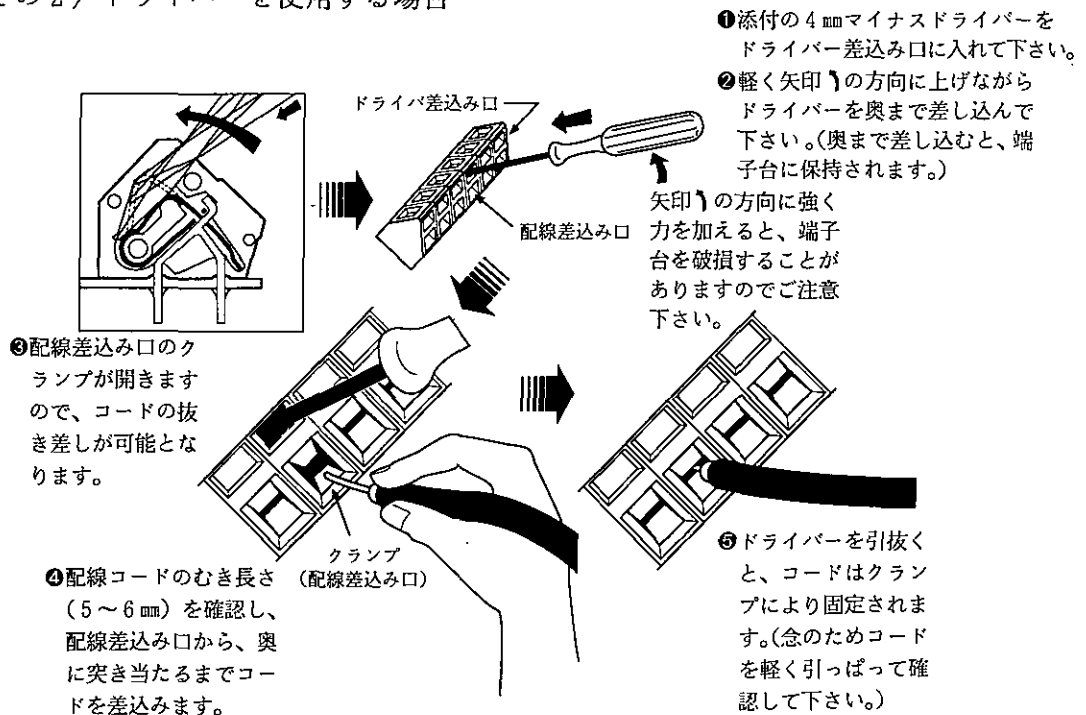
3) クランプ端子台への結線方法

〈その1〉専用工具（レバー）を使用する場合

端子台のドライバー差し込み口（2ヶ所）に専用工具のツメを図のように差込んで、軽く矢印への方向へ専用工具を押します。クランプ（配線差し込み口）が開くのを確認して、コードを配線差し込み口に挿入して下さい。



〈その2〉ドライバーを使用する場合

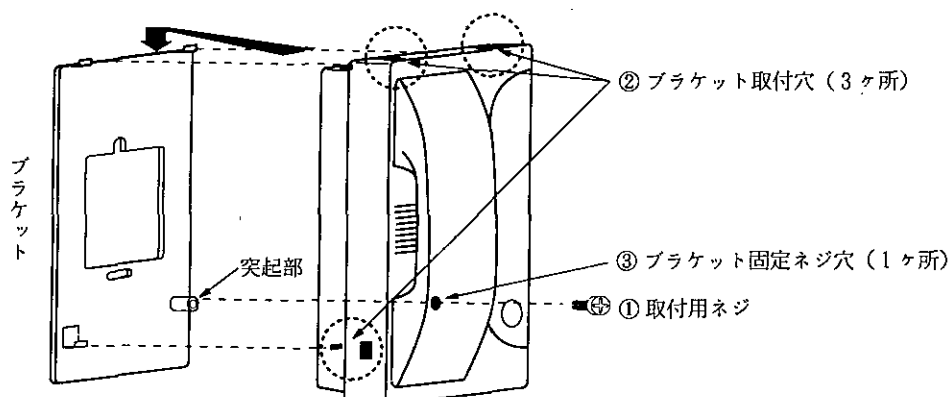


#### 4) 受話器ひも（カールコード）の引出し

受話器ひもは、装置の側面または下部から引き出すことができます。設置場所の状況に応じてひもを引出して下さい。（2 ページ背面図参照）

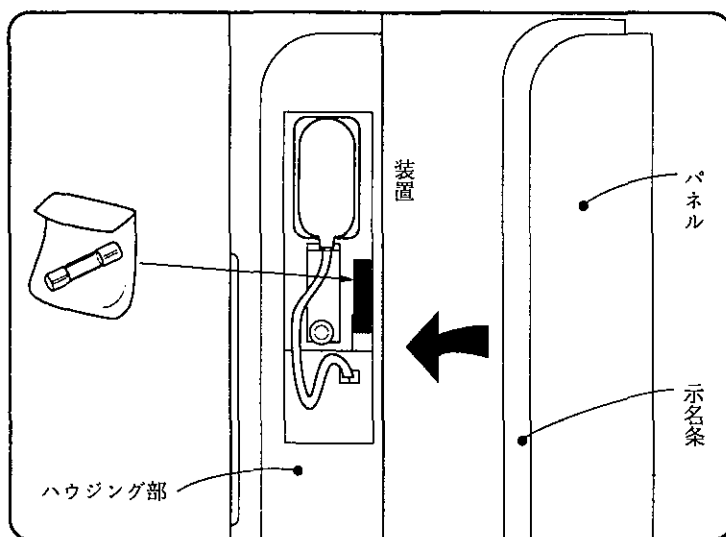
### ⑤ 装置の取付

- 1) 装置側面の「ブラケット固定ネジ穴（1ヶ所）」に、ブラケットの突起部を挿入します。
- 2) 装置背面の「ブラケット取付穴（3ヶ所）」に、ブラケットのツメをひっかけて装置をやや下方へ引き下げます。
- 3) 添付の取付用ネジで「ブラケット固定ネジ穴」を締めて装置を固定します。



### ⑥ 専用工具の保管とパネルの取付

- 1) クランプ端子台への結線作業で使用した専用工具及びドライバーは、保守点検作業の際に使用するため、持ち帰って保管して下さい。
- 2) 保守用ヒューズは、ビニール袋に入れて、ニッカド電池収納部に保管して下さい。
- 3) パネルと添付の示名条を装置のハウジング部に取付けて下さい。



### ⑦ 電源投入

装置の電源コードを商用電源（AC100V）に接続して下さい。現場の電源線を装置の端子台に直接接続している場合は、通電状態にして下さい。

## データ設定

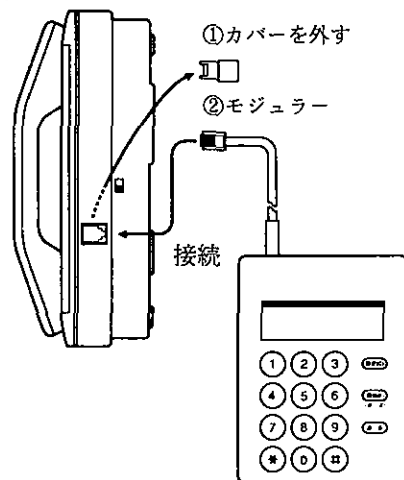
本装置を運用するためには、連絡宛先電話番号や装置の ID コードなど各種システムデータをあらかじめ設定する必要があります。「どういうデータを設定するのか」を、必ず施設運用責任者等と事前に確認の上、作業を実施して下さい。

なお、システムデータ設定作業には別売の「ガイドホン EA 設定器」を使用します。設定器に添付の取扱説明書に、操作方法の詳細を記載してありますので併せてご覧下さい。

### ① 設定器の接続方法

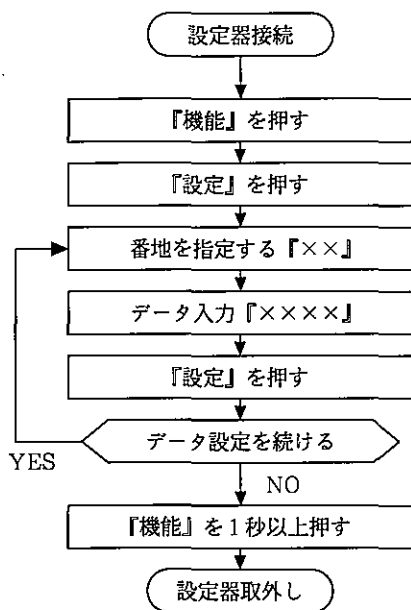
本装置にデータ設定器を接続する方法は、右図のとおりです。

ガイドホン EA の側面にある設定器接続用モジュラージャックのカバーを外し、設定器のモジュラーを差込みます。



- 設定器接続用モジュラージャックに、カールコードのモジュラーや局線モジュラーを接続することは絶対に避けて下さい。
- カバーを紛失しないようご注意ください。設定作業が完了したら必ず元どおりカバーし直して下さい。

### ② データ設定手順 (設定器操作方法)



: 設定器に「Good」表示。  
ガイドホン EA が動作中などの場合は「Good」表示しません。  
: データ設定状態となり、設定可能になります。

: 設定番地、項目、設定データ等は 23ページを参照。

: 『設定』を押さないと、入力したデータがガイドホン EA に書き込まれません。

: 設定器に「End」表示。  
ガイドホン EA をデータ設定状態から解除します。

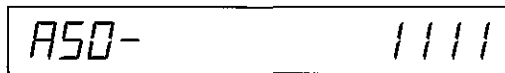
※設定器に「Error」の表示が継続した場合、一度、設定器を取り外し、再度接続して、設定を行なって下さい。また接続したまま、約3分間放置し（キー入力がない場合）その後、操作を行うと「Error」が表示されます。この場合、上記と同様に、再度接続して設定を行って下さい。

### ③ 設定器接続時の動作

- 1) 設定器を接続すると、液晶表示部に「Good」が表示されます。「Good」表示にならないときは、「こんなときはここをチェック」(33ページ)をご覧ください。
- 2) 『機能』キーを押すと、ガイドホンEAへの「データ設定状態」となり、システムデータ設定作業が可能となります。
- 3) 『設定』キーを押すと、番地の指定が可能となります。
- 4) 番地の指定

番地を指定した時、すでに設定されているデータがある場合は、そのデータを表示します。設定されているデータがなければ番地のみ表示します。

〈例〉IDコード設定番地(A50)に1111が設定されている



A50- 1111

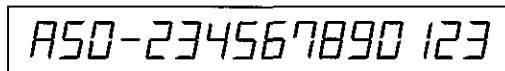
#### 5) 新データの入力

- ① 設定番地を指定した後で入力したデータは新データとなります。

なお、設定データの桁数が12桁を越える場合は、越えた桁分を左へシフトし、最上位桁から順に表示が消えていきます。

〈例〉IDコード設定番地(A50)に、

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (=13桁)を設定した場合




A50-234567890123

表示桁数最大12桁

- ② 消去

設定番地を指定した時、及び新データを入力している途中で『消去』キーの入力があると、その表示は消去され以下の表示となります。

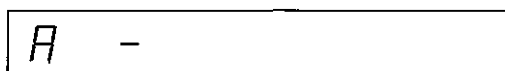
〈例〉IDコードの設定番地(A50)に設定されている表示を消去



A50-

この場合、その設定番地に新データをあらためて入力できます。

※なお、『消去』キーを2回続けて入力すると、設定番地も消去されます。この場合、再度設定番地を指定してからデータ設定をします。



A -

## 6) 書込処理

データ入力後に『設定』キーを入力すると、設定器からガイドホン EA にデータが送信され、ガイドホン EA のメモリに書き込まれます。

(『設定』キーが未入力の場合、そのデータは書き込まれません)

## 7) 設定作業の終了

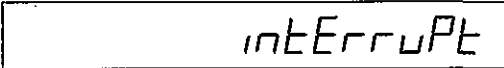
最後に『機能』キーを1秒以上押すとガイドホン EA は「データ設定状態」から解除され、「End」を表示します。

それから設定器をガイドホン EA から取り外して下さい。

## 8) その他

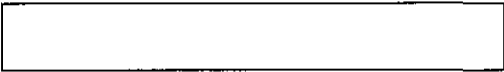
### ① 設定作業の中断

- 1 設定作業中にガイドホン EA が動作中となった時、または着信中となった時は、設定作業が中断され以下のメッセージが表示されます。

 ←インターラプト  
(中断の意味)


なお、その時点で入力途中だったデータ (= 『設定』キーがまだ入力されていなかったデータ) はガイドホン EA に書き込まれません。ガイドホン EA の動作が終了すると、設定中断前の表示に戻りますので、続きの設定作業が可能となります。



- 2) 設定作業中にガイドホン EA から設定器が取り外された時、及びガイドホン EA への電源供給が断となった時は、設定作業が中断され設定器に何も表示しなくなります。

 ←表示せず

なお、その時点で入力途中だったデータ (= 『設定』キーがまだ入力されていなかったデータ) はガイドホン EA に書き込まれません。設定器を再び接続するかまたはガイドホン EA を通電状態にして、「Good」表示後、『機能』キーを押して「データ設定状態」に戻し作業を始めてください。

### ② ポーズ(『機能』)キー、『#』キー、『\*』キーの表示

- 1 「データ設定状態」の間は、『機能』キーはポーズ入力用のキーとなり、入力すると設定器には  表示します。

- 2 『#』キーは 、『\*』キーは  と表示します。

③ 入力エラー処理

- 1 存在しない設定番地をキー入力した場合
- 2 有効キー以外のキーを入力した場合
- 3 桁数オーバーした場合

これらのキー入力は受け付けられず、以下のエラーメッセージを1秒間だけ表示します。

〈例〉エラー表示（ダイヤル種別設定の操作を間違えた時）

	手 順	キー入力	表 示
1	『設定』キーを押します	設定 (C)	A -
2	番地を指定します 『0』キーを押すと… (間違い)	0	A -
3	『9』『0』キーを押します	9 0	A90-
4	データを入力します 『3』キーを押すと… (間違い)	3	Error (1秒間表示)
5	『2』キーを押します	2	A90- 2
6	『設定』キーを押します	設定 (C)	A -

④ システムデータ設定項目一覧

設定番地、設定項目、設定データ等は次表のとおりです。

設定番地	設定項目	設定データ	設定内容	設定桁数	有効キー	初期値
A 11	連絡宛先電話番号 (通話連絡時)	任意	通話連絡時の番号	最大32桁	0～9、#、*、 ポーズロ25ページ	なし
A 41	連絡宛先電話番号 (センサ入力時)	任意	センサ入力時の番号	最大32桁	0～9、#、*、 ポーズロ25ページ	なし
A 50	IDコード	任意	装置のID	最大16桁	0～9、#、*、 ポーズロ25ページ	なし
A 60	暗証番号	任意	自動応答時の暗証番号	4桁	0～9	なし
A 70	連絡宛先呼出時間	0 1	30秒 50秒	1桁	0、1	0 (=30秒)
A 73	自動応答遅延時間 (注1)	0 1 2 3	遅延なし 10秒 20秒 30秒	1桁	0、1、2、3	1 (=10秒)
A 76	自動応答後のハンドセットオフフック検出時間 (注2)	0 1 2 3	30秒 60秒 180秒 360秒	1桁	0、1、2、3	0 (=30秒)
A 77	通話時間監視 (注3)	0 1 2 3	10分 20分 30分 監視しない	1桁	0、1、2、3	3 (=監視しない)
A 78	センサ入力検出遅延時間	0 1 2 3	遅延なし 5秒 10秒 30秒	1桁	0、1、2、3	0 (=遅延なし)
A 79	IDコード送出回数 (注4)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0回 1回 2回 3回 4回 5回 6回 7回 8回 9回	1桁	0、1、2、3、 4、5、6、7、 8、9	2 (=2回)

設定番地	設定項目	設定データ	設定内容	設定桁数	有効キー	初期値
A 90	ダイヤル種別	0	DP 10PPS	1桁	0、1、2	1 (=DP) (20PPS)
		1	DP 20PPS			
		2	PB			
A 91	宛先応答検出方法 (注5)	0	極性反転	1桁	0、1、2	0 (=極性) 反転)
		1	応答信号			
		2	検出せず			
A 92	IDコード 送出方式	0	音声	1桁	0、1、2	0 (=音声)
		1	PB			
		2	PB+音声			
A 93	混在収容の有無 (注6)	0	混在なし	1桁	0、1	0 (=混在) なし)
		1	混在あり			
A 94	PBデータ送出 レベル	0	減衰 6 dB	1桁	0、1	0 (= 6 dB)
		1	減衰 0 dB			

(注1) 自動応答遅延時間

→ガイドホンEAが、着信信号を受けてから自動応答するまでの時間。

(注2) 自動応答後のハンドセットオフフック検出時間

→ガイドホンEAが、自動応答してから受話器が上げられるまでの待ち時間。設定した時間経過しても受話器が上げられなければ、ガイドホンEAは自動的に回線を開放。

(注3) 通話時間監視

→ガイドホンEAで通話を開始してからの時間を監視すること。

ここで設定した監視時間が経過すると、ガイドホンEAは終話予告音を鳴らした後、自動的に回線を開放。

(注4) IDコード送出回数

→通話連絡時の音声IDコードの送出回数を設定。

「音声」の場合は、ここで設定した回数の音声IDを送出。

「PB」の場合は、ここで設定した回数に関係なく1回のみ送出。

「PB+音声」の場合は、PB信号で1回送出後、ここで設定した回数の音声IDを送出。

→センサ入力による非常通報の場合は、ID送出回数はここで設定した回数に関係しません。

(29ページ参照)

(注5) 宛先応答検出方法

→「検出せず」と設定した場合は、ガイドホンEAは単独電話機能となり、IDコードの送出やセンサ入力通報はできなくなります。

(注6) 混在収容の有無

→ガイドホンEAとガイドホンCD-6からの連絡通報を、受付センターなどで一元管理している場合は、「混在収容あり」に設定。

→ガイドホンEAからの連絡通報だけを受付センター等で管理している場合は、「混在収容なし」に設定。

※A11、A41、A50にポーズを設定する場合、以下のことにご注意下さい。

→A11、A41にポーズを設定する場合、必ず2桁目以降に設定して下さい。

→A50の先頭にポーズを設定する場合、必ず複数(2つ以上続けて)設定して下さい。



#### 4) 暗証番号の設定例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2 番地を押します	6 0	R60- XXXX
3 暗証番号を入力 例: 1 2 3 4	1 2 3 4	R60- 1234
4 『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- 暗証番号は必ず数字4桁で設定します。
- 有効キーは、0～9の数字です。
- 暗証番号が未設定の場合、ガイドホンEAは着信信号を検出すると自動応答し、IDコードを送出後、受話拡声状態となります。(ガイドホンEAの内蔵スピーカから「ピンポン」という呼出音に続いて音声聞こえたら、受話器を外して相互通話が可能となります)

#### 5) 連絡宛先呼出時間例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2 設定番地を指定します	7 0	R70- X
3 設定データを入力 例: (=50秒)	1	R70- 1
4 『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- ガイドホンEAが、連絡宛先を呼び出す時間を設定します。  
(設定時間を経過しても宛先応答がない場合は、回線を開放します)
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ0 (=30秒)が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは、0または1です。(0=30秒、1=50秒)

#### 6) 自動応答遅延時間の設定例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2 設定番地を指定します	7 3	R73- X
3 設定データを入力 例: 2 (=20秒)	2	R73- 2
4 『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- ガイドホンEAが、着信信号を受けてから自動応答するまでの時間を設定。
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ1 (=10秒)が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは0、1、2、3です。  
(0=遅延なし、1=10秒、2=20秒、3=30秒)

#### 7) 自動応答後のハンドセットオフフック検出時間の設定例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2 設定番地を指定します	7 6	R76- X
3 設定データを入力 例: 1 (=60秒)	1	R76- 1
4 『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- ガイドホンEAが、自動応答してから受話器が上げられるまでの待ち時間を設定。(ここで設定した時間経過しても受話器が上げられなければ、ガイドホンEAは自動的に回線を開放します)
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ0 (=30秒)が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは0、1、2、3です。  
(0=30秒、1=60秒、2=180秒、3=360秒)

### 8) 通話時間監視の設定例

	手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1	『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2	設定番地を指定します	7 7	R77- x
3	設定データを入力 例: 0 (=10秒)	0	R77- 0
4	『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- ガイドホンEAでの通話可能時間を設定。(ここで設定した時間経過すると、ガイドホンEAは終話予告音を鳴らした後、回線を開放します。)
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ3(=監視しない)が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは0、1、2、3です。  
(0=10分、1=20分、2=30分、3=監視しない)

### 9) センサ入力検出遅延時間の設定例

	手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1	『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2	設定番地を指定します	7 8	R78- x
3	設定データを入力 例: 1 (=5秒)	1	R78- 1
4	『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- ガイドホンEAは、ここで設定した時間以上のセンサ入力を検出すると、あらかじめ設定されている通報先を自動ダイヤル発信します。  
なお、宛先応答検出方式を「検出せず」と設定した場合は(A91=2)、センサ入力による通報を行いますのでご注意ください。
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ0(=遅延なし)が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは0、1、2、3です。  
(0=遅延なし、1=5秒、2=10秒、3=30秒)

### 10) IDコード送出回数の設定例

	手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1	『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2	設定番地を指定します	7 9	R79- x
3	設定データを入力 例: 3 (=3回)	3	R79- 3
4	『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- 通話連絡時の音声IDコード送出回数を設定。  
ID送出方式が「PB」の場合やセンサ入力時の非常通報の場合は、ここで設定した回数は関係しません。
- 0(=0回)と設定すると、通話連絡時も音声IDコードを送出しません。
- 宛先応答検出方法を「検出せず」と設定した場合(A91=2)、ガイドホンEAは単独電話機能となり、IDコードの送出やセンサ入力通報はできなくなります。  
(29ページをご覧ください)
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは、0~9の数字です。(0=0回、1=1回、……9=9回)  
(29ページもご覧ください)

### 11) ダイアル種別の設定例

	手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1	『設定』キーを押します	設定(C)	R -
2	設定番地を指定します	9 0	R90- x
3	設定データを入力 例: 2 (=PB)	2	R90- 2
4	『設定』キーを押します	設定(C)	R -

- ガイドホンEAには出荷時に初期データ1(=DP 20PPS)が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは、0、1、2です。(0=DP 10PPS、1=DP 20PPS、2=PB)

12) 宛先応答検出方法の設定例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	A -
2 設定番地を指定します	9 1	AG 1- x
3 設定データを入力 例：1 (=応答信号)	1	AG 1- 1
4 『設定』キーを押します	設定(C)	A -

- 「検出せず」と設定した場合、ガイドホンEAは単独電話機能となり、IDコードの送出やセンサ入力通報はできなくなります。(29ページをご覧ください)
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ0 (=極性反転) が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは0、1、2です。(0 = 極性反転、1 = 応答信号、2 = 検出せず)

13) IDコード送出方式の設定例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	A -
2 設定番地を指定します	9 2	AG 2- x
3 設定データを入力 例：2 (=PB+音声)	2	AG 2- 2
4 『設定』キーを押します	設定(C)	A -

- ID送出内容との関係については、「IDコードの設定例」(23ページ)を、ID送出回数との関係については、「IDコード送出回数・送出方法・宛先応答検出方法の関係」(29ページ)をご覧ください。
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ0 (=音声) が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは、0、1、2です(0 = 音声、1 = PB、2 = PB + 音声)

14) 混在収容の有無の設定例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	A -
2 設定番地を指定します	9 3	AG 3- x
3 設定データを入力 例：1 (=混在あり)	1	AG 3- 1
4 『設定』キーを押します	設定(C)	A -

- ガイドホンEAとガイドホンCD-6からの連絡通報を、受付センター等で一元管理している場合は、「混在収容あり」に設定します。
- ガイドホンEAからの連絡通報だけを受付センター等で管理している場合は、「混在収容なし」に設定します。
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ0 (=混在なし) が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは、0、1です(0 = 混在なし、1 = 混在あり)

15) PBデータ送出レベルの設定例

手 順	キー入力	表 示 (XXXX=設定済みデータ)
1 『設定』キーを押します	設定(C)	A -
2 設定番地を指定します	9 4	AG 4- x
3 設定データを入力 例：1 (=減衰0dB)	1	AG 4- 1
4 『設定』キーを押します	設定(C)	A -

- ガイドホンEAがIDコードを送出する際の、PB信号送出減衰レベルを設定。
- ガイドホンEAには出荷時に初期データ0 (減衰6dB) が設定してあります。
- 設定データは必ず数字1桁で設定します。
- 有効キーは、0、1です(0 = 減衰6dB、1 = 減衰0dB)

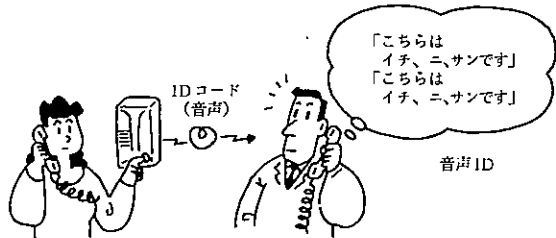
(注) IDコード送出回数・送出方式・宛先応答  
検出方法の関係

「IDコード送出回数」(A79)は、通話連絡時の  
音声 IDコードの送出回数を規定するものです。

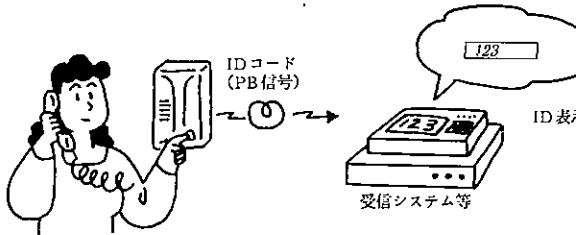
(1) 通話連絡の場合

① ID送出方式が「音声」の場合は、A79で設定した  
送出回数分の音声IDコードを送出してから通話状  
態となります。

送出回数を「0回」と設定した場合は、IDコード  
を送出せずに通話状態となります。



② ID送出方式が「PB」の場合は、設定した送出回数  
に関係なく、PB信号で1回のみIDコードを送出  
してから通話状態となります。



③ ID送出方式が「PB+音声」の場合は、PB信号で  
1回IDコードを送出してから、A79で設定した回  
数分の音声IDコードを送出します。

(2) センサ入力時の非常通報の場合

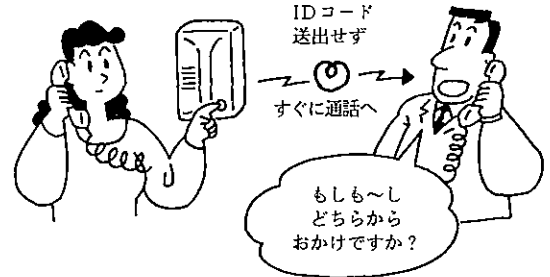
A79で設定したID送出回数に関係なく音声IDは最  
大20回、PB+音声の場合は1回+最大20回、PBの場  
合は1回のみ送出手します。



(3) 宛先応答の検出方法を「検出せず」と設定  
した場合

ガイドホンEAは、単独電話機能となります。

この場合、ガイドホンEAはセンサ入力による非常通  
報動作を行いません。また、通話連絡時もIDコード  
を送出しません。



〈例〉ID送出回数を「0回」で設定 (A79=0)

連絡 種別	ID送出 方式		音 声	P B	PB+音声
	応答 検出方式	音 声			
通 話 連 絡	極性反転	ID送出 せず (0回)	ID送出 (1回)	ID送出 (1回)	1回+0回
	応答信号	ID送出 せず (0回)	ID送出 (1回)	ID送出 (1回)	1回+0回
	検出せず	ID送出 せず (0回)	ID送出 せず (0回)	ID送出 せず (0回)	ID送出 せず (0回+0回)
セ ン サ 通 報	極性反転	ID送出 (最大20回)	ID送出 (1回)	ID送出 (1回)	1回+最大20回
	応答信号	ID送出 (最大20回)	ID送出 (1回)	ID送出 (1回)	1回+最大20回
	検出せず	通報動作 しない	通報動作 しない	通報動作 しない	通報動作 しない

〈例〉ID送出回数を「n回」で設定 (A79=n)

(n=1、2、3……、9)

連絡 種別	ID送出 方式		音 声	P B	PB+音声
	応答 検出方式	音 声			
通 話 連 絡	極性反転	ID送出 (n回)	ID送出 (n回)	ID送出 (1回)	1回+n回
	応答信号	ID送出 (n回)	ID送出 (n回)	ID送出 (1回)	1回+n回
	検出せず	ID送出 せず (0回)	ID送出 せず (0回)	ID送出 せず (0回)	ID送出 せず (0回+0回)
セ ン サ 通 報	極性反転	ID送出 (最大20回)	ID送出 (最大20回)	ID送出 (1回)	1回+最大20回
	応答信号	ID送出 (最大20回)	ID送出 (最大20回)	ID送出 (1回)	1回+最大20回
	検出せず	通報動作 しない	通報動作 しない	通報動作 しない	通報動作 しない

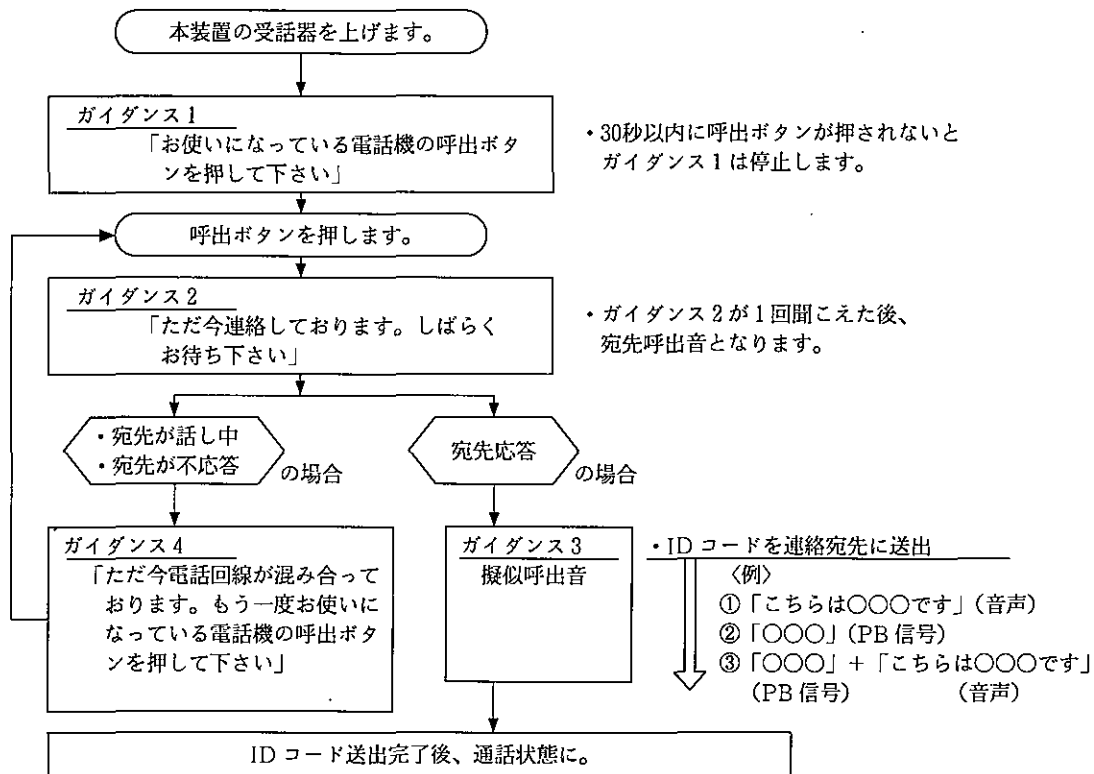
## 検 査

本装置の取付、結線、およびシステムデータ設定完了後、本装置が正常に動作することを確認するために、動作試験を行います。

### ① 通話連絡とガイダンス機能の確認

本装置の受話器を上げ、呼出ボタンを押し、設定した連絡宛先に自動ダイヤル発信を行うかどうか確認します。(ガイダンスが正しく受話器から聞こえるかどうか確認します)

#### 1) IDコードを送出する場合



#### 2) IDコードを送出しない場合（単独電話機能モードでの運用）

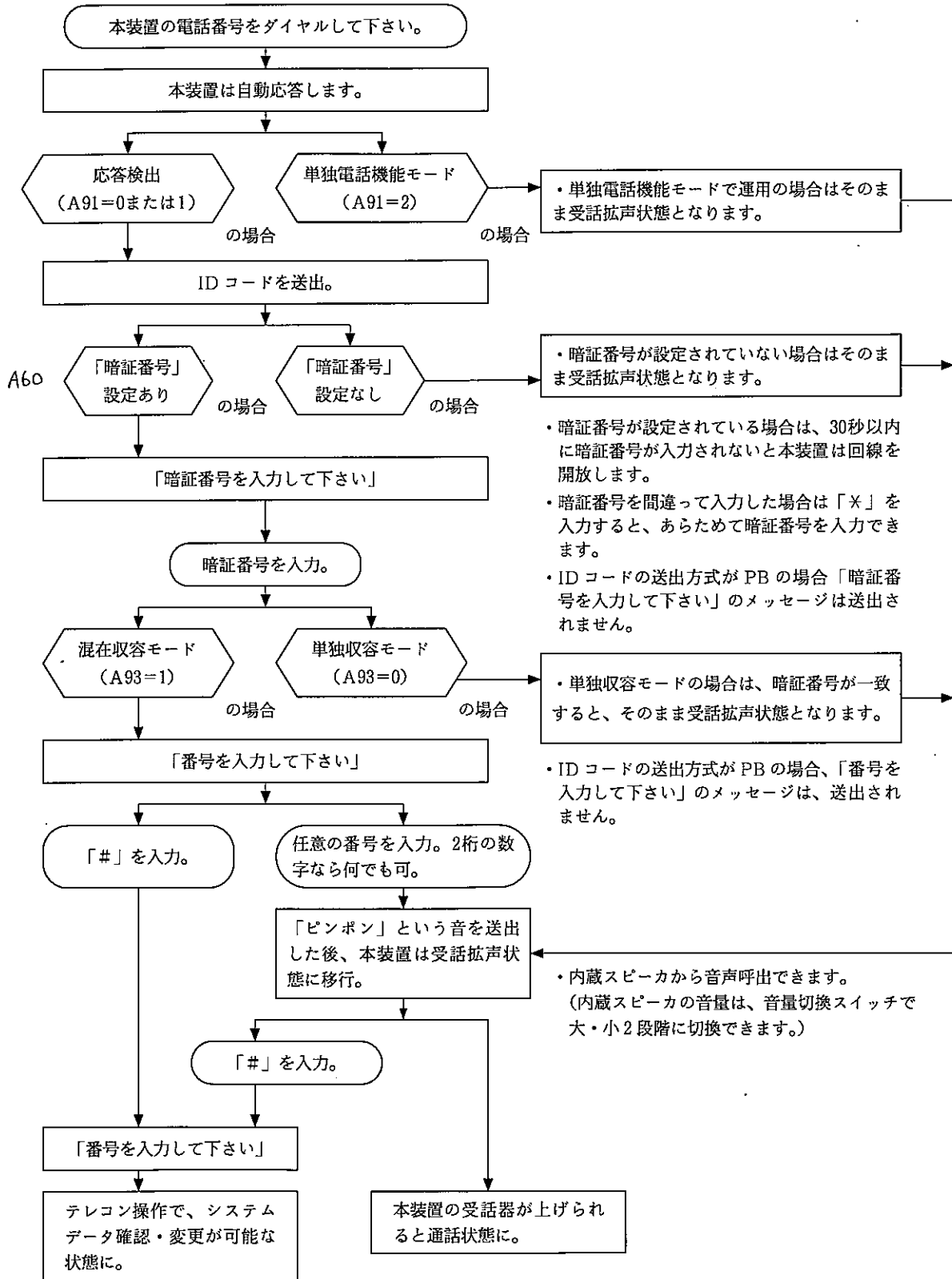
宛先応答を「検出せず」（設定番地A91=2）と設定した場合、本装置は単独電話機能のモードとなります。この場合、ID送出回数及び送出方式の設定に関係なく、通話連絡時のIDコード送出を行いません。

従って、ガイダンス1に従って呼出ボタンを押した後は、宛先とつながり次第、通話状態に移行します。ガイダンス2、3は送出されません。

※単独電話機能は、「PBX内線に装置が接続されている」「宛先がフリーダイヤル」等で、宛先の応答検出ができない場合に利用します。

## ② 自動応答と受話拡声機能の確認

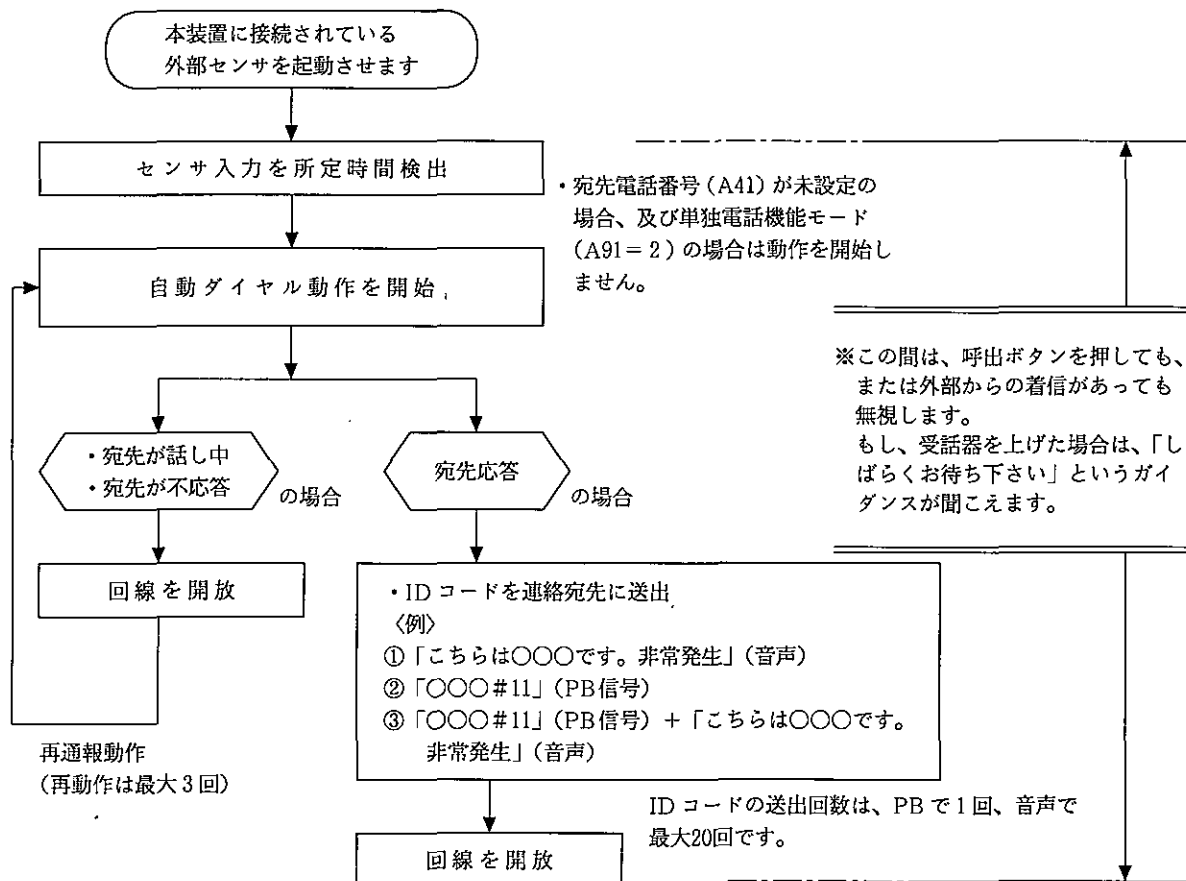
外部から本装置を呼出して自動応答させ、内蔵スピーカで受話拡声した後、通話状態に移行するかどうか確認します。



★テレコン操作方法については「11ページ」をご覧ください。

### ③ センサ入力時の非常通報動作の確認

本装置に外部センサを接続する場合は、センサを起動させて通報試験を行い、本装置の動作を確認します。



※本装置が、着信自動応答中または通話連絡中にセンサ入力を検出した場合は、入力情報は保持し、他の動作が終了してから非常通報を行います。

## こんなときはここをチェック

### ① 設定器に表示がでない

	チェックポイント	対処方法
1	ガイドホンEAの「設定器接続用」モジュージャックに、設定器のモジュラーが正確に接続されていますか？	設定器のコネクタをもう一度接続し直して下さい。
2	ガイドホンEAに停電バックアップ電池を接続しないで、主電源（AC100V）をOFFにしていますか？	停電バックアップ用電池をガイドホンEAに接続して、主電源をONにして下さい。
3	ガイドホンEAのヒューズ（装置背面に取付）が切れていませんか？	主電源を切ってからヒューズを交換して下さい。（3.15Aヒューズ）

### ② 設定器に「intErruPt」（=中断）が表示されてしまう

	チェックポイント	対処方法
1	ガイドホンEAの受話器がはずれていませんか？	受話器を戻して下さい。
2	ガイドホンEAが次のとおり動作中ではありませんか？ ①センサ入力を受けて通報動作中 ②外部からの着信を受けて自動応答中	動作が終わるまで待って下さい。 ↓ <b>intErruPt</b> の表示が消えてから設定して下さい。

### ③ 設定番地がキー入力できない

	チェックポイント	対処方法
1	設定器をガイドホンEAに接続し設定器が「Good」表示した後、『機能』キーを押さずに設定番地を指定しようと操作していませんか？	『機能』キーを押し、「データ設定状態」にしてから設定操作を始めて下さい。

### ④ 最後に入力したはずのデータがガイドホンEAに書き込まれていない

	チェックポイント	対処方法
1	最後のデータを入力した後、『設定』キーを押さずに設定器を抜いてしまったのでは？	もう一度最後のデータを入力し直して下さい。 入力後必ず『設定』キーを押して、次に『機能』キーを1秒間押してから設定器を外して下さい。

### ⑤ ガイドホンEAが連絡を行わない。

#### 1) 受話器を上げてもメッセージが流れない。

	チェックポイント	対処方法
1	電源は確実に来ていますか？	電源（AC100V）をチェックし、停電バックアップ用電池も確実に差し込んで下さい。
2	電話番号（A11）は設定されていますか？	電話番号を設定して下さい。

#### 2) 受話器を上げボタンを押すと「ただいま連絡～」のメッセージが流れるがその後しばらく無音状態が続き、「ただいま回線が～」のメッセージが流れる。

	チェックポイント	対処方法
1	回線は確実に来ていますか？（途中で断線等していませんか？）	電話回線が通じているかを調べて下さい。

#### 3) 受話器を上げボタンを押すと「ただいま連絡～」のメッセージが流れるがその後しばらく「ツ～」という音が続き、「ただいま回線が～」のメッセージが流れる。

	チェックポイント	対処方法
1	ダイヤル種別は合っていますか？	回線のダイヤル種別に合わせ、DPまたはPBに設定して下さい。

#### 4) 受話器を上げると「しばらくお待ち下さい」のメッセージが流れる。

	チェックポイント	対処方法
1	センサ入力があったため、通報中ではないですか？	受話器を戻し、しばらく待ってもう一度操作して下さい。センサの状況も調べて下さい。
2	着信中、またはテレコン動作中ではありませんか？	受話器を戻し、しばらく待ってもう一度操作して下さい。

## お願い

### ① 電池の交換

本装置には、停電、故意の電源断に備えるための充電電池が添付してあります。本装置の用途上、停電時に一定時間の通話機能を確保させるためにも、(14ページ)のとおり必ず装置本体に取付けて運用して下さい。

電池の寿命、品種については次のとおりです。

〈ニッカド電池について〉

- ・完全充電に要する時間は約48時間です。したがって、常時完全充電状態にするため、電源プラグをコンセントから抜かないで下さい。
- ・電池はフル充電された状態で、3時間の停電に耐える容量を持っています。
- ・電池の寿命はおよそ2～3年ですが、停電時の動作を確実にに行わせるため、2年ごとに交換して下さい。交換方法は、取付け時と同じです。(14ページ)
- ・電池の規格は次のとおりですが、品種・価格・購入方法等についてはご購入店または当社窓口までお問い合わせの上、早めに手配して下さい。また古い電池はご購入店にお返し下さい。

電池規格

8.4V (8.4V×1本) 500mAH 専用品

### ② ヒューズの交換

装置背面のヒューズカバー内に3.15Aヒューズが1本実装されています。設定器を接続しても何も表示しない場合などは、ヒューズ切れが原因と考えられる場合がありますので、ご確認下さい。

使用ヒューズ

3.15A筒型ヒューズ

ヒューズカバーの外し方は、マイナスイボ差込み口にドライバを差込んで下さい。

(2ページ参照)

#### ★注意★

ヒューズを交換する時は、必ず電源コードをコンセントから外した状態で行って下さい。現場の電源線が端子に直接接続されている場合も、無通電の状態で行って下さい。

### ③ 重要回線シールの貼付

取付工事の際、本装置を接続した電話回線に添付の「重要回線シール」を必ず貼付するようお願いいたします。ランチ(親子)接続されたり、他の電話装置が前方接続されたりして、本装置の動作が妨げられることを避けるためにも、シールの貼付・活用にご協力をお願い致します。

#### 添付品一覧

No.	品名	数量	No.	品名	数量	No.	品名	数量
1	ニッカド電池	1	7	システムデータ設定表	1	13	専用工具	2
2	取付ブラケット	1	8	点検チェックリスト	1	14	電源コード	1
3	商品保証書	1	9	販売店並びに取付工事店様へのお願い	1	15	3.15A筒型ヒューズ	2
4	商品ご相談窓口一覧表	1	10	工事要領書	1	16	本体取付用ネジ (本体⇔ブラケット)	1
5	重要回線ラベル	1	11	示名条	1	17	ブラケット取付用木ネジ (ブラケット⇔壁面)	2
6	端末設備接続請求書	1	12	専用ドライバ	1	18	ブラケット取付用ネジ (ブラケット⇔スイッチボックス)	2

## 仕 様

	項 目	仕 様
1	適 用 回 線	一般加入電話回線、またはPBX内線
2	回 線 接 続 方 式	クランプ端子台による結線
3	収 容 回 線 数	1回線
4	ダイヤル方式	DP (10PPSまたは20PPS)、またはPB
5	連絡先電話番号	通話連絡用最大32桁/センサ入力通報用最大32桁
6	連絡先記憶容量	通話連絡用1宛先/センサ入力通報用1宛先
7	外 部 入 力	センサ入力1系統 (無電圧マーク接点)
8	外 部 出 力	スピーカ端子1系統
9	通 信 方 式	音声メッセージ、PBダイヤル信号
10	使 用 電 源	AC100V±10V 50/60Hz
11	消 費 電 力	待機時3W、動作時13W
12	停 電 動 作	ニッカド電池により約3時間
13	外 形 寸 法	約90mm (W)×約220mm (H)×約96mm (D)
14	重 量	約0.9kg
15	使用温湿度範囲	温度0℃~40℃、湿度90%RH以下 ただし結露なきこと
16	データ設定方法	別売の専用データ設定器による

### アフターサービスについて

#### ① 保証書 (別に添付してあります)

保証書は当社取扱店からお渡しいたしますので、購入日などの記入事項をお確かめになり、内容をよくお読みの上大切に保管して下さい。

保証期間は、ご購入の日から1年間です

#### ② 故障等で修理を依頼される時は、下記の点をお調べの上、なお異常のある場合には、当社取扱店にご連絡下さい。

- 電源コードがコンセントから抜けていませんか。
- ヒューズが切れていませんか。
- その他「こんなときはここをチェック」(33ページ)をご参照下さい。

#### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名(事業所)・電話番号
- ご購入日(保証書をご覧下さい)
- 故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

#### ③ その他ご不明な点はお購入店または当社窓口にお問い合わせ下さい。

資料編

緊急呼出電話装置

ガイドホンEA

システムデータ設定表 (1/2)

ガイドホンEAに設定されているシステムデータです。  
 施設運用責任者様にて保管・管理をお願いします。

設定番地	設定項目	設定データ	設定内容	初期値	初期設定内容	現行設定データ	記 事
A11	連絡宛先電話番号 (通話連絡時)	任意	電話番号	なし	なし		最大32桁
A41	連絡宛先電話番号 (センサ入力時)	任意	電話番号				最大32桁
A50	IDコード	任意	装置ID				最大16桁
A60	暗証番号	任意	暗証番号				4桁
A70	連絡宛先呼出時間	0 1	30秒 50秒	0	30秒		
A73	自動応答遅延時間	0 1 2 3	遅延なし 10秒 20秒 30秒	1	10秒		
A76	自動応答後のハンドセットオフフック検出時間	0 1 2 3	30秒 60秒 180秒 360秒	0	30秒		
A77	通話時間監視	0 1 2 3	10分 20分 30分 監視しない	3	監視しない		
A78	センサ入力検出遅延時間	0 1 2 3	遅延なし 5秒 10秒 30秒	0	遅延なし		
A79	IDコード送出回数	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	0回 1回 2回 3回 4回 5回 6回 7回 8回 9回	2	2回		通話連絡時の音声IDの送出回数を規定。PB信号でのID送出、センサ入力通報時のID送出はこの設定と無関係。

## 緊急呼出電話装置

### ガイドホンEA

#### システムデータ設定表 (2/2)

設定番地	設定項目	設定データ	設定内容	初期値	初期設定内容	現行設定データ	記 事
A90	ダイヤル種別	0 1 2	DP 10PPS DP 20PPS PB	1	DP 20PPS		
A91	宛先応答検出方法	0 1 2	極性反転 応答信号 検出せず	0	極性反転		「検出せず」のとき、ガイドホンEAは単独電話機能となる。
A92	IDコード送出方式	0 1 2	音声 PB PB+音声	0	音 声		
A93	混在収容の有無	0 1	混在なし 混在あり	0	混在なし		
A94	PBデータ送出レベル	0 1	減衰 6 dB 減衰 0 dB	0	減衰 6 dB		

【MEMO】

# 緊急呼出電話装置

## ガイドホンEA

### 点検チェックリスト (1/2)

ガイドホンEAの点検記録です。  
施設運用責任者様にて保管・管理をお願いします。

点 検 項 目	年 月 日 担当		年 月 日 担当		年 月 日 担当		記 事
	チェック欄	備考欄	チェック欄	備考欄	チェック欄	備考欄	
1. 配線チェック							
断線							
①本体端子台							
錆、腐食							
抜けかかり							
②周辺機器							
断線							
①センサ、回線、外部スピー カー、電線、E(アース)							
錆、腐食							
抜けかかり							
2. 通報動作チェック							
①受話器を上げると受話器からメッセージ は送出されるか？ 「お使いになっている電話機の呼出ボタ ンを押して下さい。」							
②「呼出」ボタン押下にて受話器からメッ セージは送出されるか？ 「ただ今連絡しております。しばらくお 待ち下さい。」							
③相手応答にてIDコードを送出するか？ (音声、PB信号、PB信号+音声)							
④通話は良好か？							
⑤宛先側で先に電話を切ると回線を開放す るか？ (受話器：無音)							
3. センサ動作							
①設置されているセンサを起動させると、 通報動作を開始するか？							
4. 自動応答動作							
①自動応答遅延時間経過後、自動応答する か？							
②受話拡声ができるか？							
③受話拡声音量 [大・小] 切替え可能か？							
④外部スピーカから受話音が聞こえるか？							
5. 設定器動作							
①設定器を接続すると、設定器に [GOOD] と表示するか？							

## 緊急呼出電話装置

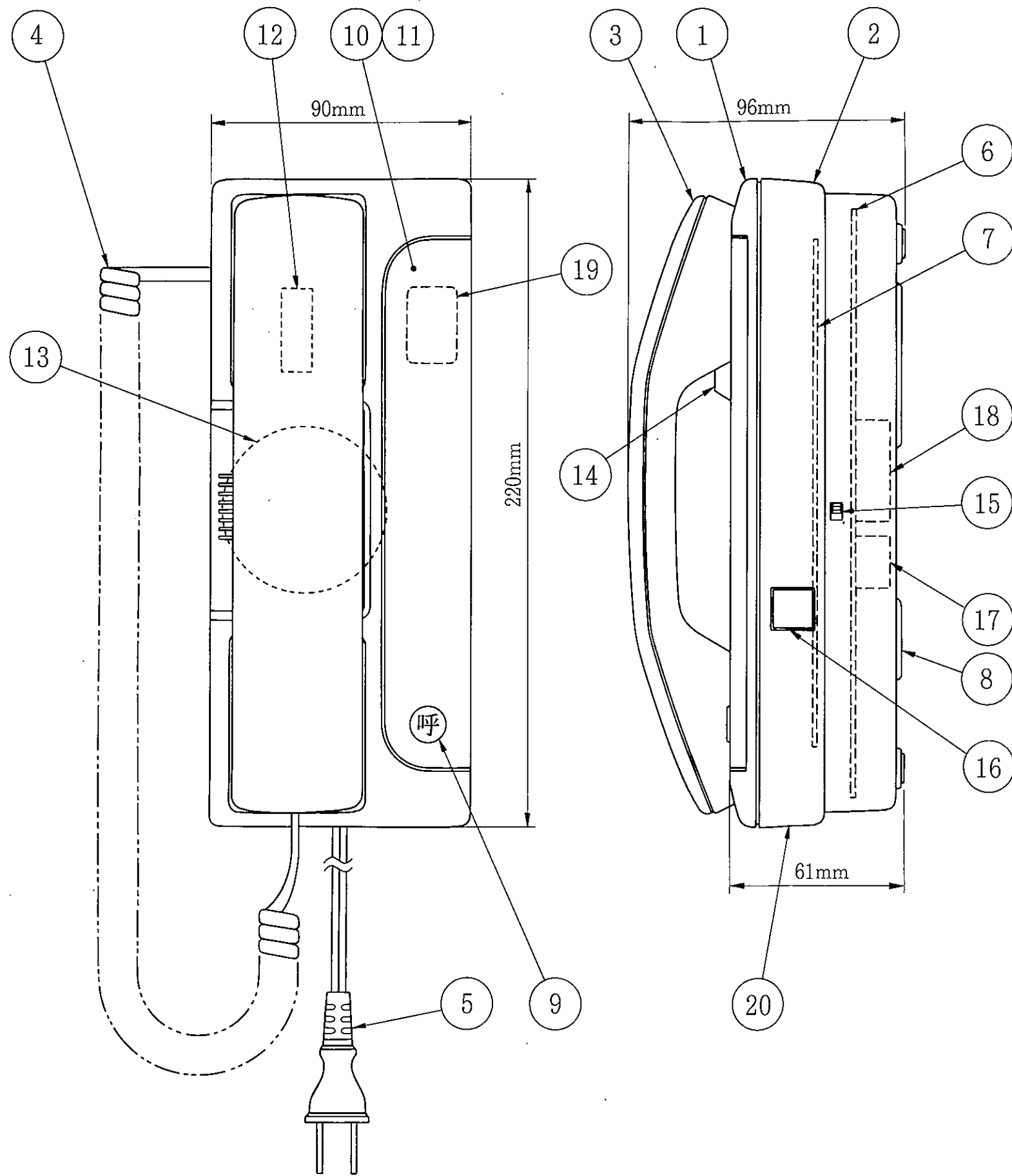
ガイドホンEA

### 点検チェックリスト (1/2)

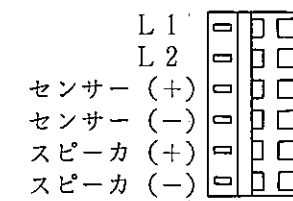
点 検 項 目	年 月 日 担当		年 月 日 担当		年 月 日 担当		記 事
	チェック欄	備 考 欄	チェック欄	備 考 欄	チェック欄	備 考 欄	
6. 停電動作 ①AC電源の供給停止時、2項「通報動作 チェック」の動作は可能か？							
7. 電 池 ①液漏れや異常な膨らみ等はないか？ ②接続は正常か？							

### 電池交換年月日

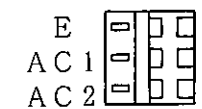
第 1 回	第 2 回	第 3 回
年 月 日	年 月 日	年 月 日
担当	担当	担当



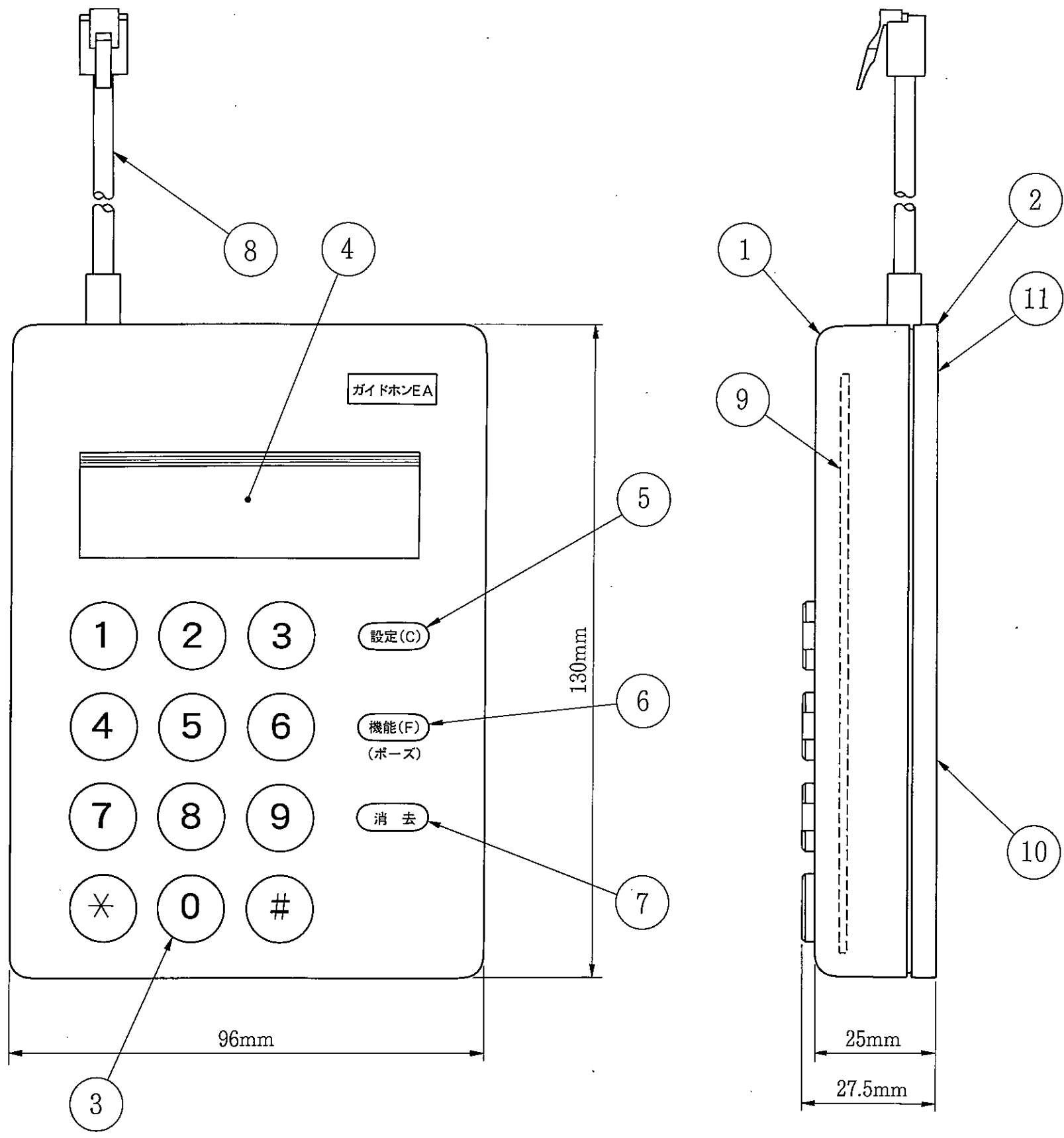
番号	名 称	数量	記事
1	ハウジング	1	
2	ベース	1	
3	ハンドセット	1	
4	送受器ひも	1	
5	電源コード	1	
6	NCUユニット	1	
7	CPUユニット	1	
8	フサギ板	1	
9	呼び出しボタン	1	
10	パネル	1	
11	示名条	1	
12	フックボタン	1	
13	スピーカー	1	
14	壁掛け用ハンガー	1	
15	スピーカー音量切換スイッチ	1	
16	設定器接続用モジュージャック	1	
17	電源用端子盤	1	
18	局線/センサ/SP端子盤	1	
19	バッテリー	1	
20	品名紙 (認定表示)	1	
	組立部品	一式	



局線/センサ/SP端子盤



電源用端子盤



番号	名称	数量	記事
1	上ケース	1	
2	下ケース	1	
3	ダイヤルボタン	12	
4	LCDパネル	1	
5	設定ボタン	1	
6	機能ボタン	1	
7	消去ボタン	1	
8	ラインコード	1	
9	ユニット	1	
10	データ設定項目表	1	
11	品名紙	1	
	組立部品	一式	